



ジャッジング・システム

アイス・ダンス役員用
ハンドブック
パターン・ダンス

アイス・ダンス

2020年7月1日版

概要

イントロダクション	3
選定パターン・ダンスの告知	4
パターン・ダンスの音楽(ウォームアップ中および練習用)	6
パターン・ダンスの評価	8
要求されるシーケンスとセクション	9
一般的要件	11
キー・ポイントがあるシーケンス／セクションのコール手順	13
定義	15
キー・ポイントとキー・ポイント特徴	19
追加の定義, 定義の詳細, 注記	19
質問と回答(Q & A)(コール基準)	20
シーケンス／セクションGOEの採点基準	25
定義	25
GOEの特徴	26
コンポーネンツの採点基準	27
定義	28
コンポーネンツの特徴	30
プログラム・コンポーネンツ(アイス・ダンス) — 色分けのチャート	32
衣装	33
ノービスにおける減点 — 減点責任者と記号	34
パターン・ダンスの説明, ステップ表, ダイアグラム(ノービス国際競技会)	37
フォーティーン・ステップ	37
フォックストロット	39
ロッカー・フォックストロット	41
ヨーロピアン・ワルツ	43
アメリカン・ワルツ	45
スターライト・ワルツ	47
キリアン	50
タンゴ	52
アルゼンチン・タンゴ	54
ブルース	57
スウィング・ダンス	59
ウィロー・ワルツ	62
タンゴ・フィエスタ	64
クイックステップ	66
タンゴ・キャナスタ	69
ダッチ・ワルツ	71
リズム・ブルース	72
ウェストミンスター・ワルツ	73
パターン・ダンスとパターン・ダンス要素の情報(2020～2021シーズン)	75
質問と回答(Q & A) — 音楽・その他	77

カテゴリー: **アイス・ダンス**
 件名: **イントロダクション**

	出典																																		
<p>1. パターン・ダンスでは、音楽、リズム、テンポに合わせて規定のパターンを滑走する。</p> <p>2. パターン・ダンスのある国際競技会において、滑走するパターン・ダンスは以下から選定される。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. フォーティーン・ステップ</td><td>18. ヤンキー・ポルカ</td></tr> <tr> <td>2. フォックストロット</td><td>19. クイックステップ</td></tr> <tr> <td>3. ロッカー・フォックストロット</td><td>20. フィンステップ</td></tr> <tr> <td>4. ティータイム・フォックストロット</td><td>21. パソ・ドブレ</td></tr> <tr> <td>5. <u>スウィング・ダンス</u></td><td>22. ルンバ</td></tr> <tr> <td>6. <u>ダッチ・ワルツ</u></td><td>23. ルンバ・ダムール</td></tr> <tr> <td>7. <u>ウィロー・ワルツ</u></td><td>24. チャ・チャ・コンゲラード</td></tr> <tr> <td>8. ヨーロピアン・ワルツ</td><td>25. シルバー・サンバ</td></tr> <tr> <td>9. アメリカン・ワルツ</td><td>26. タンゴ・フィエスタ</td></tr> <tr> <td>10. ウェストミンスター・ワルツ</td><td>27. <u>タンゴ・キャナスタ</u></td></tr> <tr> <td>11. ヴィニーズ・ワルツ</td><td>28. タンゴ</td></tr> <tr> <td>12. オーストリアン・ワルツ</td><td>29. アルゼンチン・タンゴ</td></tr> <tr> <td>13. スターライト・ワルツ</td><td>30. タンゴ・ロマンチカ</td></tr> <tr> <td>14. ラベンスバーガー・ワルツ</td><td>31. <u>リズム・ブルース</u></td></tr> <tr> <td>15. ゴールデン・ワルツ</td><td>32. ブルース</td></tr> <tr> <td>16. キリアン</td><td>33. ミッドナイト・ブルース</td></tr> <tr> <td>17. <u>メープルリーフ・マーチ</u></td><td></td></tr> </table> <p>上記パターン・ダンスのステップ・シーケンスについては、『ISUハンドブッカーアイス・ダンス2003』に説明、表およびダイアグラムが掲載されている。男性は男性のステップを、女性は女性のステップを滑走しなければならない。</p>	1. フォーティーン・ステップ	18. ヤンキー・ポルカ	2. フォックストロット	19. クイックステップ	3. ロッカー・フォックストロット	20. フィンステップ	4. ティータイム・フォックストロット	21. パソ・ドブレ	5. <u>スウィング・ダンス</u>	22. ルンバ	6. <u>ダッチ・ワルツ</u>	23. ルンバ・ダムール	7. <u>ウィロー・ワルツ</u>	24. チャ・チャ・コンゲラード	8. ヨーロピアン・ワルツ	25. シルバー・サンバ	9. アメリカン・ワルツ	26. タンゴ・フィエスタ	10. ウェストミンスター・ワルツ	27. <u>タンゴ・キャナスタ</u>	11. ヴィニーズ・ワルツ	28. タンゴ	12. オーストリアン・ワルツ	29. アルゼンチン・タンゴ	13. スターライト・ワルツ	30. タンゴ・ロマンチカ	14. ラベンスバーガー・ワルツ	31. <u>リズム・ブルース</u>	15. ゴールデン・ワルツ	32. ブルース	16. キリアン	33. ミッドナイト・ブルース	17. <u>メープルリーフ・マーチ</u>		<p>規程第707条第1項および第2項</p>
1. フォーティーン・ステップ	18. ヤンキー・ポルカ																																		
2. フォックストロット	19. クイックステップ																																		
3. ロッカー・フォックストロット	20. フィンステップ																																		
4. ティータイム・フォックストロット	21. パソ・ドブレ																																		
5. <u>スウィング・ダンス</u>	22. ルンバ																																		
6. <u>ダッチ・ワルツ</u>	23. ルンバ・ダムール																																		
7. <u>ウィロー・ワルツ</u>	24. チャ・チャ・コンゲラード																																		
8. ヨーロピアン・ワルツ	25. シルバー・サンバ																																		
9. アメリカン・ワルツ	26. タンゴ・フィエスタ																																		
10. ウェストミンスター・ワルツ	27. <u>タンゴ・キャナスタ</u>																																		
11. ヴィニーズ・ワルツ	28. タンゴ																																		
12. オーストリアン・ワルツ	29. アルゼンチン・タンゴ																																		
13. スターライト・ワルツ	30. タンゴ・ロマンチカ																																		
14. ラベンスバーガー・ワルツ	31. <u>リズム・ブルース</u>																																		
15. ゴールデン・ワルツ	32. ブルース																																		
16. キリアン	33. ミッドナイト・ブルース																																		
17. <u>メープルリーフ・マーチ</u>																																			

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **選定パターン・ダンスの告知**

		出典
総則および抽選	<p>国際ノービス競技会におけるパターン・ダンス課題は、アイス・ダンス技術委員会からISUコミュニケーションによって毎年6月1日以前に発表され、発表翌年の7月1日から発効する。</p> <p>パターン・ダンス競技部分がある他の国際競技会(シニアおよびジュニアのグランプリ各大会を除く)におけるパターン・ダンス課題は、主催者が決定し要項で発表することができる。</p> <p>抽選が必要な場合は、最初の公式練習の前に、滑走されるパターン・ダンスを抽選して発表する。この抽選は、レフェリーが、可能ならば参加選手1組の立会いを得て行う。</p>	規程第711条第1項
国際ノービス 競技会	<p>ベーシック・ノービス:</p> <p>以下から2つのパターン・ダンスを滑走する。</p> <p>グループ1: スウィング・ダンス, ウィロー・ワルツ, タンゴ・フィエスタ</p> <p>グループ2: フォーティーン・ステップ, ウィロー・ワルツ, タンゴ・キャナスタ</p> <p>グループ3: フォックストロット, ダッチ・ワルツ, リズム・ブルース</p> <ul style="list-style-type: none">• 2020~2021シーズン: <u>グループ2</u>• 2021-2022シーズン: <u>グループ3</u> <p>インターミディエイト・ノービス:</p> <p>大会公式練習開始前に、そのシーズンの課題として発表されている2グループから1グループを抽選で選ぶ。各グループは2つのパターン・ダンスからなる。</p> <p>グループ1: ロッカー・フォックストロット, アメリカン・ワルツ</p> <p>グループ2: フォーティーン・ステップ, タンゴ</p> <p>グループ3: フォックストロット, ヨーロピアン・ワルツ</p> <p>グループ4: キリアン, スターライト・ワルツ</p>	ISUコミュニケーション 第2313号

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **選定パターン・ダンスの告知**

国際ノービス競技会	インターミディエイト・ノービス: <ul style="list-style-type: none">2020～2021シーズン:<u>グループ2, グループ3</u>2021-2022シーズン:<u>グループ3, グループ4</u>	
	アドバンスト・ノービス: <p>以下のパターン・ダンス2つを滑走する.</p> <ul style="list-style-type: none">2020～2021シーズン: スターライト・ワルツ, クイックステップ2021～2022シーズン: ウェストミンスター・ワルツ, ブルース	
パターン・ダンスの競技順	パターン・ダンスは, 規程第707条第2項に定められた順に競技を行う.	規程第707条第2項

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンスの音楽(ウォームアップ中および練習用)**

		出典
概要	<p>a)国際競技会のパターン・ダンス競技には現行のISU公式アイス・ダンス音楽を使用するものとする。ただし、アイス・ダンス技術委員会が1つまたは複数のパターン・ダンスについて、ISUコミュニケーションで発表された要件を満たす音楽をカップルが提出すると決定した場合を除く。この場合、要件に従わないパターン・ダンス音楽は減点により罰せられる(第353条第1項n)を参照)。</p> <p>b)現行のISU公式アイス・ダンス音楽を使用する場合、国際競技会においては、ISUコミュニケーションによる別段の指示がないかぎり、各パターン・ダンスに対してISU課題曲1番から5番までの5曲を用いる。音楽は滑走グループごとに上記の番号順で演奏される。各ダンスに用意されている6番の曲は、滑走グループごとのウォームアップ中にのみ使用する。</p>	規程第707条第5項
2020～ 2021 シーズン	<p>2020～2021シーズンにおいて、パターン・ダンスの音楽は、すべて、カップルが用意しなければならない。</p> <p>規程第707条の新条項、第6項により、パターン・ダンスの最終ステップを完了後、カップルは、20秒以内に最終姿勢を取らなければならない。この時間を超えた場合、規程第353条第1項n)に定められた「演技時間」の減点が適用される。</p> <p>・ その他の国際競技会: 組織委員会が大会要項で発表する。</p> <p>音楽は、パターン・ダンスのリズムに合ったものでなければならない。ボーカルは入っていてもかまわない。テンポは、規定されたシーケンスのあいだ一定でなければならないし、当該パターン・ダンスに定められたテンポ(ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003を参照のこと)に対して±2拍/分(ワルツについては±3拍/分)に収まっていないなければならない。</p> <p>音楽は、競技会で自分が出場する競技の公式練習が始まる前に提出しなければならない。</p>	ISUコミュニケーション第2313号

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンスの音楽(ウォームアップ中および練習用)**

ウォームアップ音楽	<p>注)</p> <ul style="list-style-type: none">音楽は、ISU公式アイス・ダンス音楽から選んでもよい。この場合、選んでよいのは1番から5番の曲のみであり、カップルは規程第343条第1項に従って競技会用の音楽を用意するものとする。上記の音楽要件やテンポ指定に違反した場合、規程353条第1項n)に従って罰せられる。カップルが選ぶ音楽は、すべて、そのパターン・ダンスのスタイル／特徴に適したものでなくてはならない。カップルが用意した音楽に対しても規程708条第1項d)が適用されるため、そのダンスの第1ステップは小節の第1拍で踏み出されなければならない(ただしダンスの説明において別途指定されている場合を除く)。 <p>3分間。音楽なしで30秒間の後、ISUアイス・ダンス音楽の最後(6番目)の曲を2分30秒間流す。最大6カップル。 フォーティーン・ステップ - ISUアイス・ダンス音楽、フォックストロットの6番目(最後)の曲 ウィロー・ワルツ - ISUアイス・ダンス音楽、ヨーロピアン・ワルツの6番目(最後)の曲 タンゴ・キャナスタ - ISUアイス・ダンス音楽、タンゴの6番目(最後)の曲</p>	規程第514条第2項c)
公式練習	公式練習では、いずれのパターン・ダンスについても、カップルが選んだ曲を流す(最初のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑り終わったら、2番目のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑る)	ISUコミュニケーション第2313号

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンスの評価**

	<p>ベーシック・ノービス パターン・ダンス レベルの説明 パターン・ダンスにはキー・ポイントがなく、レベル1までの評価となる。 ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。</p> <p>パターン・ダンスの演技構成点は以下を採点する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケーティング技術 ・ パフォーマンス ・ タイミング <p>演技構成の係数は0.7とする。 パターン・ダンスを2つ滑走する競技会ではその合計点に係数0.5を乗ずる。</p> <p>インターミディエイト・ノービス パターン・ダンス レベルの説明 パターン・ダンスにはキー・ポイントが1つ定められており、評価はレベル2までとなる。 ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。 パターン・ダンスの演技構成点は以下を採点する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケーティング技術 ・ パフォーマンス ・ タイミング <p>演技構成の係数は0.7とする。 パターン・ダンスを2つ滑走する競技会ではその合計点に係数0.75を乗ずる。</p> <p>アドバンスト・ノービス パターン・ダンス レベルの説明 パターン・ダンスにはキー・ポイントが2つ定められており、評価はレベル3までとなる。 ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。 パターン・ダンスのコンポーネンツは、すべて、以下の面について採点を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケーティング技術 ・ パフォーマンス ・ 音楽の解釈(インタープリテーション) ・ タイミング <p>演技構成の係数は0.7とする。 パターン・ダンスを2つ滑走する競技会ではその合計点に係数1.0を乗ずる。</p>	ISUコミュニケーション 第2313号
--	---	------------------------

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **要求されるシーケンスとセクション**

		出典
シーケンス	順序と内容が定められた複数のステップ／ターンのことで、パターン・ダンスの1パターン(シーケンス)を構成する。	規程第703条第5項
セクション	パターン・ダンスのシーケンスの一部を意味する。	規程第703条第5項
要求される シーケンスと セクション	<p>各パターン・ダンスのパターンは、一定数のセクションに分割することができる(ISUコミュニケーションで公表・更新する)。あるダンスの分割セクション数は、その長さ(ステップ数)とシーケンス数によって異なる。</p> <p>2020～2021シーズンにおいて、スウィング・ダンス、ウィロー・ワルツ、タンゴ・フィエスタ、ロッカー・フォックストロット、アメリカン・ワルツ、フォーティーン・ステップ、タンゴ、アルゼンチン・タンゴ、ブルースのシーケンスはセクションに分割しない。</p>	規程第708条第2項
フォーティーン・ステップ 4シーケンス	フォックストロット 4シーケンス	ロッカー・フォックストロット 4シーケンス
アメリカン・ワルツ 2シーケンス	ウェストミンスター・ワルツ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～12 第2セクション - ステップ13～22	ヴィニーズ・ワルツ 3シーケンス
スターライト・ワルツ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～17 第2セクション - ステップ18～32	ラペンスパーガー・ワルツ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～19 第2セクション - ステップ20～41	ゴールデン・ワルツ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～22 第2セクション - ステップ23～47
ヤンキー・ポルカ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～25 第2セクション - ステップ26～52	クイックステップ 4シーケンス	フィンステップ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～33 第2セクション - ステップ34～70
ルンバ 4シーケンス	チャ・チャ・コンゲラード 2シーケンス	シルバー・サンバ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～27 第2セクション - ステップ28～49
アルゼンチン・タンゴ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～18 第2セクション - ステップ19～31	タンゴ・ロマンチカ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～27 第2セクション - ステップ28～49	ブルース 3シーケンス
		ヨーロピアン・ワルツ 2シーケンス
		オーストリアン・ワルツ 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～16 第2セクション - ステップ17～36
		キリアン 6シーケンス
		バソ・ドブレ 3シーケンス
		タンゴ 2シーケンス
		ミッドナイト・ブルース 2シーケンス 第1セクション - ステップ1～13 第2セクション - ステップ14～26

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **要求されるシーケンスとセクション**

	ルンバ・ダムール シーケンス数は、必要になったとき、ISUコミュニケーションで発表する。	メープルリーフ・マーチ シーケンス数は、必要になったとき、ISUコミュニケーションで発表する。	ティータイム・フォックストロット 1シーケンス 第1セクション - ステップ1～31 第2セクション - ステップ32～54	ダッチ・ワルツ 2シーケンス	
	ウィロー・ワルツ 2シーケンス	リズム・ブルース 3シーケンス	スウィング・ダンス 2シーケンス	タンゴ・フィエスタ 3シーケンス	
	タンゴ・キャナスタ 3シーケンス				

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **一般的要件**

		出典
スタート位置	アイス・ダンス技術委員会からISUコミュニケーションを通じて別段の指示がないかぎり、パターン・ダンスは、パターン前半部分のステップがジャッジ席側で滑走されるようにスタートしなければならない。	規程第707条第4項
中断	パターン・ダンスで中断が起きた場合、ステップ・シーケンス中の技術的に実行可能な最も近い場所から続けるものとする。ただし、その再開地点は中断の起こった地点よりも後ろでなければならない。中断によって行ない損ねたステップを滑走することは許されない。	規程第707条第7項
一般的要件	<p>パターン・ダンスの滑走中に従うべき事項は次のとおり。</p> <p><i>a. 正確さ</i> - ステップ、エッジ、要素／動作、およびダンス・ホールドは、各ダンスの説明と規程に従わなければならない。全体として最低限の要件に従っているならば、その範囲内でカップル独自のスタイルを示すことは許される。これは通常腕や脚の動作に変化をつけることによって行われる。要求されているダンス・ホールドの説明と異なる腕や手の動作や位置も、男性のリードする手が定められた位置にあるならば許される。</p> <p><i>b. 配置(ブレースメント)</i> - 各ダンスのパターンは規程に従わなければならない。氷面は最大限に有効利用することが望ましい。そのためにはディープ・エッジと十分な流れが必要である。フラット・エッジや浅い(シャロウ)エッジによる滑走で大きなパターンを滑走してはならない。正規サイズのリンク(第342条)では、リンクのロング・アクシスを横切ってはならない。正規のサイズより小さいリンクでは、小さくなったリンクの幅に比例する分だけ横切ってもよい。</p> <p><i>c. スケーティング技術(スケーティング・スキル)</i> — 基本的なスケーティングの質がよいことが要求される。</p> <p>ディープ・エッジで滑走すべきで、その際にスピードや流れ、滑らかさを失ってはならず、また無駄な力なく楽々で行わなければならない。ステップ、エッジ、およびロープの移り変わりははっきりとわかるくらいに正確かつ確実でなければならない。体重はスケーティング・フット上に保たなければならない。フットワークは乱れることなく、かつ正確でなければならない。両足滑走は要求されないかぎり行ってはならない。</p>	規程第708条第1項

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **一般的要件**

	<p>両パートナーには等しく高い技術力が求められる。スケーティング・レッグの膝の動きはリズムカルな屈伸運動を伴った柔軟なものでなければならない。シャッセやプログレッシブにおいて、氷面からの距離がなるべく小さくなるようにフリー・フットを持ち上げるべきである。</p> <p>d. タイミング - ダンスは厳密に音楽に合わせて滑走しなければならない。また(パターン・ダンスの説明で別段の指定がないかぎり、またはアイス・ダンス技術委員会が別段の指定を行いISUコミュニケーションで発表しないかぎり)第1歩はその曲の第9小節の第1拍で踏み出さなければならない。各ステップ／動作にあてる拍数は規程に定められたとおりとしなければならない。すべてのステップが流れを中断せず行えるように、あらゆる動作は音楽のリズムに合っていないなければならない。</p> <p>e. スタイル - 姿勢はまっすぐで、硬直しておらず、頭を上げていなければならない。すべての動作は無理なく流れのあるもので、かつ優雅に行われるべきである。ダンス・ホールド(第605条第705条参照)はしっかりとしているべきであり、指を広げたり、握りしめたりするべきではない。スピードを得るために努力しているのが明らかにわかるのは避けるべきで、よいスタイルを犠牲にしてまでスピードを得るべきではない。フリー・レッグは伸ばし、つま先は外側下向きにすべきである。</p> <p>f. ユニゾン - カップルはできるだけ互いに接近して滑走し、互いの距離を一定に保つべきである。脚のスウィング、膝の曲げ、体の傾け具合などすべての動作は等しく、かつ、よく調和しているべきで、またその出来映えもバランスが取れているべきである。パートナー同士は一体となって動作すべきである。男性はリードする能力を、女性はフォローする能力を示すべきである。</p> <p>g. 音楽の解釈(インタープリテーション) - ダンスはその音楽を正しく解釈した上で、スムーズかつリズムカルに滑走しなくてはならない。音楽の解釈はダンス動作に変化を付けることによって示される。音楽のリズム・パターンはダンス動作に反映されるからである。全体として、各パターン・ダンスがはっきりと違う特色を持つように演技しなくてはならない。パートナー同士は互いに理解し合うべきである。</p>	
--	--	--

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **キー・ポイントがあるシーケンス／セクションのコール手順**

コール基準	出典
パターン・ダンスのシーケンス／セクションが認定されるのは、両パートナーともにその50%以上を完遂できたときである。	ISUコミュニケーション第2313号

概要	出典
レベルBの要件を1つでも満たせなかった場合、そのシーケンス／セクションにレベルは与えられない。	ISUコミュニケーション第2313号

レベルの特徴				出典
				ISUコミュニケーション第2313号
レベルB	レベル1	レベル2	レベル3	
両パートナーともパターン・ダンスの50%を完遂した。	両パートナーともパターン・ダンスの75%を完遂した。	キー・ポイント1つが正しく実行された	キー・ポイント2つが正しく実行された	

レベルの調整	出典
なし	

カテゴリー: アイス・ダンス

件名: キー・ポイントがあるシーケンス／セクションのコール手順

コールの追加原則	出典
<p>1. キー・ポイントとその実施精度をテクニカル・パネルが認定するプロセスは、必須要素とそのレベルを認定するプロセスと同じである(すなわち多数決)。キー・ポイントの実行が正しいか正しいか否かは「Judges Details per Skater」に以下のように示される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Yes」: キー・ポイントの特徴がすべて満たされ、すべてのエッジ／ステップが要求拍数のあいだ保たれた、または 「Timing」: キー・ポイントの特徴はすべて満たされたが、要求拍数のあいだ保たれなかったエッジ／ステップがあった、または 「No」: 満たされなかったキー・ポイントの特徴があった(エッジ／ステップが要求拍数のあいだ保たれたか否かは問わない)、あるいは、転倒や中断によってキー・ポイントが認定されなかった。 <p>2. パターン・ダンスのステップ数の割合(パーセンテージ)は、実施されたステップの総数に基づいて評価する。</p> <p>3. パターン・ダンスの入りや最中に転倒や中断が生じたが直ちに復帰した場合、転倒または中断の前後に満たせた要件に従ってその要素は認定され、レベルが与えられる。レベルBの要件が満たされない場合はノーレベルとされる。</p> <p>4. アドバンスト・ノービスのレベル3とインターミディエイト・ノービスのレベル2は、パターン・ダンスがつまりぎや転倒やその他の原因による中断がまったくない場合にのみ考慮される。</p> <p>パターン・ダンスで4拍以内の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは1段階下がる。「Judges Details per Skater」の表には「<」と記載し、4拍以内の中断を示す。</p> <p>アドバンスト・ノービスの例: Yes, Yes — レベル3からレベル2に引き下げ</p> <p>インターミディエイト・ノービスの例: Yes — レベル2からレベル1に引き下げ</p> <p>パターン・ダンスで4拍を超える中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは2段階下がる。「Judges Details per Skater」の表には「<<」と記載し、4拍を超える中断を示す。</p> <p>アドバンスト・ノービスの例: Yes, Yes — レベル3からレベル1に引き下げ</p> <p>インターミディエイト・ノービスの例: Yes — レベル2からレベルBに引き下げ</p> <p>5. 実施できたステップが50%未満であった場合、テクニカル・スペシャリストはキー・ポイントを実行されたとおりコールするとともに、そのパターン・ダンスの名前と「ノー・レベル」に加え、「アテンション」とコールする。「Judges Details per Skater」の表には「！」と記載し、パターン・ダンスの50%未満しか完了されなかったことを示す。</p> <p>例: Yes, Yes — レベル3からノー・レベルに引き下げ。</p> <p>1. 注) 次のステップに向けたブッシュ／トランジションを準備するため、このステップの最終拍がチェンジ・エッジになってもよい。</p>	<p>ISUコミュニケーション第2313号</p>

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **定義**

定義		出典
アメリカン・ワルツ, AW1SqとAW2Sq	図表のセクションを参照のこと. AW1SqとAW2Sq: アメリカン・ワルツの第1シーケンスと第2シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § 1-5
ブルース, BL1SqからBL3Sq	図表のセクションを参照のこと. BL1SqからBL3Sq: ブルースの第1シーケンスから第3シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § 1-24
チェンジ・エッジ	片足のブレードによる目に見える軌跡で、ある1つのカーブとエッジから別のカーブとエッジに変わるもの.	規程第704条第1項b)
チョクトウ (Cho)	チョクトウは片方の足からもう片方の足に踏み換えるターンで、その際に出のエッジのカーブが入りのエッジのカーブと反対になるものである。足換えは、アウトサイド・エッジからインサイド・エッジあるいはインサイド・エッジからアウトサイド・エッジへ行う。ダンスの説明で別段の指定がないかぎり、フリー・フットはスケーティング・フットのすぐそばで氷に置く。入りのエッジと出のエッジの深さは等しい.	規程第704条第11項b) (ii)
クローズド・チョクトウ (ClCho)	フリー・フットの甲をスケーティング・フットの踵に寄せ、スケーティング・フットの踵の後ろでフリー・フットを氷に置くチョクトウ。体重移動の後、新しいフリー・フットの最初の位置は、新しいスケーティング・フットの前になる(例: ブルースのステップ12から13)。	規程第704条第11項b) (ii)
クローズド・モホーク (ClMo)	フリー・フットの甲をスケーティング・フットの踵へ寄せ、スケーティング・フットの踵の後ろでフリー・フットを氷に置くモホーク。体重移動の後、新しいフリー・フットの最初の位置は、新しいスケーティング・フットの前になる(例: ロッカー・フォックストロットのステップ11から12)。	規程第704条第11項b) (i)
クロス・ビハインド (XB)	フリー・フットがスケーティング・フットの後ろでクロスし、スケーティング・フットのアウトサイド・エッジ側の氷上にフリー・フットが置かれるステップ(注: 脚は膝よりも下でクロスする)。	規程第704条第5項

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **定義**

定義		出典
クロス・フォワード (XF)	フリー・フットがスケーティング・フットの前でクロスし、スケーティング・フットのアウトサイド・エッジ側の氷上にフリー・フットが置かれるステップ(注- 脚は膝よりも下でクロスする)。	規程第704条第4項
クロスト・オープン・チョクトウ (X-OpCho)	フリー・フットのアウトサイドをスケーティング・フットの前方、直角に構えるチョクトウ。ターン後の腰はオープンなポジションとなる。ワイド・ステップで行うこともある。(例: ルンバのステップ11から12)	規程第704条第11項b)(ii)
クロス・ロール (フォワード/バックワード) (CR)	スケーティング・フットの脇にフリー・レッグを通し、次なるアウトサイド・カーブへとロールする動き。このとき、体重は、ロールする動きになるように、アウトサイド・カーブから新しいアウトサイド・カーブへと移動する。	ISUコミュニケーション第2314号 - 2020～2021シーズンに適用される追加説明
エッジ	片足のブレードによる目に見える軌跡で1つのカーブをなすもの。	規程第704条第1項a)
ヨーロピアン・ワルツ, EW1SqとEW2Sq	図表のセクションを参照のこと。 EW1SqとEW2Sq: ヨーロピアン・ワルツの第1シーケンスと第2シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-4
フォーティーン・ステップ, FO1SqからFO4Sq	図表のセクションを参照のこと。 FO1SqからFO4Sq: フォーティーン・ステップの第1シーケンスから第4シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-1
フォックストロット, FT1SqからFT4Sq	図表のセクションを参照のこと。 FT1SqからFT4Sq: フォックストロットの第1シーケンスから第4シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-2
キリアン, KI1SqからKI6Sq	図表のセクションを参照のこと。 KI1SqからKI6Sq: キリアンの第1シーケンスから第6シーケンス	ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-12
モホーク (Mo)	一方の足から他方の足へ行うターンで、入りのカーブと出のカーブは一続きで同じ深さのカーブである。足換えは、アウトサイド・エッジからアウトサイド・エッジあるいはインサイド・エッジからインサイド・エッジへと行う。	規程第704条第11項b)(i)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **定義**

定義	出典
オープン・モ ホーク (OpMo)	フリー・フットの踵をスケーティング・フットの内側で氷に置くモホーク。両足の角度は自由である。体重移動の後、新しいフリー・フットの最初の位置は、新しいスケーティング・フットの踵の後ろになる(例: フォーティーンステップの男性のステップ8と9および女性のステップ12と13)。 規程第704条第11項 b) (i)
プログレッシブ (Pr)	フリー・フットを氷に下ろす前にスケーティング・フットを通り越すステップまたはステップの連続。その結果、新しいフリー・フットは新しいスケーティング・フットのトレース上で氷から離れる。 規程第704条第7項
ロッカー (Rk)	アウトサイド・エッジからアウトサイド・エッジ、またはインサイド・エッジからインサイド・エッジへ片足で行なうターンで、入りのカーブと出のカーブは異なるローブとなる。スケーターは入りのカーブの方向にターンする。 規程第704条第11項 a)(viii)
ロッカー・フォックスト ロット, RF1Sqから RF4Sq	図表のセクションを参照のこと。 RF1SqからRF4Sq: ロッカー・フォックストロットの第1シーケンスから第4シーケンス ISUアイス・ダンス・ ハンドブック2003, § I-3
スターライト・ワルツ, SW1Sq1Se, SW1Sq2Se, SW2Sq1Se, SW2Sq2Se	図表のセクションを参照のこと。 SW1Sq1Se: スターライト・ワルツの第1シーケンス第1セクション SW1Sq2Se: スターライト・ワルツの第1シーケンス第2セクション SW2Sq1Se: スターライト・ワルツの第2シーケンス第1セクション SW2Sq2Se: スターライト・ワルツの第2シーケンス第2セクション ISUアイス・ダンス・ ハンドブック2003, § I-9
スウィング・モ ホーク (Sw-Mo)	スケーティング・レッグのすぐそばを通してフリー・レッグを前方にスウィングし、スケーティング・フットのそばに戻してターンを行うオープンまたはクローズドのモホーク(例: タンゴのステップ20から21)。 規程第704条第11項 b) (i)
スウィング・ロッカー (SwRk)または スウィング カウンター (SwCtr)	ターンの前にフリー・フットがスケーティング・フットのすぐそばをスムーズにスウィングされて通り、ターン後のフリー・フットは、スケーティング・フットを通り越して後方トレース上に保たれるか、前方にスウィングされるようなロッカーまたはカウンター。 規程第704条第11項a) (x)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **定義**

定義		出典
スウィング・ロール (SwR)	音楽の数拍にわたる長いロール。バックワード滑走の場合には、フリー・レッグを上げ、はじめ前方、続いてスケーティング・フットを通り越して後方にスウィングし、次のステップのためにスケーティング・フットの横に戻す。フォワード滑走の場合、フリー・レッグははじめ後方に、それから前方にスウィングする。	規程第704条第8項a)
スウィング・スリー・ターン (Sw3)	スリー・ターンの一種。ターンを始める際、エッジはアウトサイドで、フリー・レッグは遠くに伸ばした状態でつま先と腰をしっかりと外旋させてトレース上に保つ。そして、フリー・フットの甲をスケーティング・フットの踵まで引き寄せた瞬間にターンを行う。インサイド・エッジへのターンが完了したとき、フリー・フットは、また、トレース上、遠くに伸ばした状態になる。その後、フリー・フットをスケーティング・フットに引き寄せてから次のステップに入る。	規程第704条第11項a) (ii)
タンゴ, TA1SqとTA2Sq	図表のセクションを参照のこと。 TA1SqとTA2Sq: タンゴの第1シーケンスと第2シーケンス	IISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § 1-21
スリー・ターン (3)	アウトサイド・エッジからインサイド・エッジあるいはインサイド・エッジからアウトサイド・エッジへと、片足で行うターンで、ロープを変えることなく入りのカーブから出のカーブまで滑る。ターンはカーブの方向へ行う。	規程第704条第11項a) (i)
ターン	前進から後進、または後進から前進へと変化する回転動作。	規程第704条第11項

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

追加の定義, 定義の詳細, 注記	出典
<p>キー・ポイントとキー・ポイント特徴</p> <p>ベーシック・ノービス - パターン・ダンスにはキー・ポイントがなく, レベル1までの評価となる. ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する.</p> <p>インターミディエイト・ノービス - パターン・ダンスにはキー・ポイントが1つ定められており, 評価はレベル2までとなる. ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する.</p> <p>アドバンスト・ノービス - パターン・ダンスにはキー・ポイントが2つ定められており, 評価はレベル3までとなる. ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する.</p> <p>関連のキー・ポイント特徴がすべて満たされ, エッジやステップも, すべて, 所定の拍数維持された場合, キー・ポイントは正しく実行されたことになる.</p> <p>注) 次のステップに向けたプッシュ/トランジションを準備するため, このステップの最終拍がチェンジ・エッジになってもよい.</p>	<p>ISUコミュニケーション 第2313号</p>

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q&A) - キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

質問(コール基準)	回答	備考
キー・ポイントのコールは、テクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストでどう分担すればいいのか。	男性・女性、それぞれが別個に行うキー・ポイント:テクニカル・スペシャリストがコールする。 男性・女性、それぞれのキー・ポイントだが、同時に行うもの:女性のキー・ポイントはテクニカル・スペシャリスト、男性のキー・ポイントはアシスタント・テクニカル・スペシャリストがコールする。 男性・女性、2人のキー・ポイント:テクニカル・スペシャリストがコールする。アシスタント・テクニカル・スペシャリストがパートナーの片方について、テクニカル・コントローラーがもう片方について再確認することにもよい。	女性のキー・ポイントと連携する形で男性が行うキー・ポイントで、アシスタント・テクニカル・スペシャリストがコールするものは以下のとおり。 クイックステップのキー・ポイント2
キー・ポイントは、どうコールすればいいのか。	キー・ポイントのエクセキューションが正しかったか否かは、完了直後に、「Yes」か「Timing」か「No」でコールする。このコールは、データ・オペレーターがシステムに入力し、後々のために記録しておく。 キー・ポイントはレビューを申請することができる。	
キー・ポイント特徴における「正しいエッジ」とはなにを意味するのか。	ステップの最初から最後までずっと、エッジがクリーンでなければならないことを意味する。	

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) - キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

質問(コール基準)	回答	備考
エッジの定義は「片足のブレードによる目に見える軌跡で1つのカーブをなすもの」となっている。ということは、短いステップのキー・ポイント特徴が「正しいエッジ」となっていて、カーブがはっきりとは見えない場合、どうすればいいのか。	短いステップでは、氷に刻まれるカーブを見るのが困難なこともある。その場合、ステップの始まりから終わりまで、終始、スケーティング・フットが正しい側に傾いていて、かつ、トレースにはっきり無理がかかっているとは見えなければ、明確なカーブが刻まれたとテクニカル・パネルは判断すべきである。	
キー・ポイント特徴における「正確なターン」とはなにを意味するのか。	ターンの入りも出もクリーンなエッジでなければならない(ステップの最初から最後までずっと、エッジがクリーンでなければならないわけではない)、また、ジャンプしたりひっかいたりもしてはならないことを意味する。	
「クローズド・モホーク／チョクトウ」の定義は「スケーティング・フットの踵の後ろでフリー・フットを氷に置く」となっている。テクニカル・パネルは、この要件を、どのくらい厳密に判定しなければならないのか。	甲からつま先にかけてのどこかでフリー・フットが氷に置かれた場合、この要件は満たされたと判断してよい。両足が触れあう必要はないが、なるべく近くにそろっていることが望ましい。	2020～2021シーズンにおいて、クローズド・モホーク／チョクトウが含まれるキー・ポイントは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スターライト・ワルツのセクション1, キー・ポイント2(女性のステップの16～17, LFO CIMo, RBO) ・ フォックストロットのキー・ポイント1(女性のステップの11～12, LFO CIMo, RBO)
「オープン・モホーク／チョクトウ」の定義は「フリー・フットをスケーティング・フットの内側で氷に置く」となっている。テクニカル・パネルは、この要件を、どのくらい厳密に判定しなければならないのか。	甲からかかとにかけてのどこかでフリー・フットが氷に置かれた場合、この要件は満たされたと判断してよい。両足が触れあう必要はないが、なるべく近くにそろっていることが望ましい。	2020～2021シーズンにおいて、オープン・モホーク／チョクトウが含まれるキー・ポイントは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スターライト・ワルツのセクション2, キー・ポイント1(女性のステップの21～22 (LFI, OpMo, RBI))

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) - キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

質問(コール基準)	回答	備考
キー・ポイント特徴にXF(クロス・フォワード)やXB(クロス・ビハインド)が含まれているとき、トレースの反対側、スケーティング・フットから離れた位置にフリー・フットが置かれた場合、そのキー・ポイントは認められるのか。	認められない。クロス・フォワードの定義(規程第604条第4項)もクロス・ビハインドの定義(規程第604条第5項)も、「脚は膝よりも下でクロスする」形で「スケーティング・フットのアウトサイド・エッジ側の氷上にフリー・フットを置く」となっている。両足が触れあう必要はないが、なるべく近くにそろっていることが望ましい。	2020～2021シーズンにおいて、XF(クロス・フォワード)が含まれるキー・ポイントは以下のとおり。 ・ なし
キー・ポイント特徴で「スケーティング・フットのすぐそばから」と規定されていたとき、両足が触れあっていない場合、そのキー・ポイントは認められるのか。	認められる。ただし、両足がブレード長以上離れていた場合には、認められない。	
キー・ポイント特徴としてリストアップされていないミスがあった場合、テクニカル・パネルは、そのミスを、キー・ポイントの評価にどう反映させればいいのか。	そのミスを無視し、リストアップされているキー・ポイント特徴のみを考慮して、そのキー・ポイントを認めるべき否かを判断する。	ジャッジは、そのミスを採点に反映させることができる。
ターンの定義では「フリー・フットを寄せる」という表現と「フリー・フットを置く」という表現が使われている。両者はどう違うのか。	「フリー・フットを寄せる」は、空中にあるフリー・フットの位置を述べたものである。 「フリー・フットを置く」は、フリー・フットが氷面に接し、スケーティング・フットとなる瞬間の位置を述べたものである。	

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) - キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

質問(コール基準)	回答	備考
<p>キー・ポイントに含まれるステップが複数の部分に分割できるもので、その部分それぞれについて拍数が定められていたとする(たとえば、片足でターン、チェンジ・エッジ)。そのキー・ポイント特徴がすべて満たされ、ステップ全体で定められた拍数になっていた場合、テクニカル・パネルは、そのキー・ポイントをどうコールすればいいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ そのステップの各部分も、それぞれ、定められた拍数になっていた場合は「Yes」 ■ 短すぎる部分や長すぎる部分があった場合は「Timing」 	<p>2020～2021シーズンにおいて、そのようなキー・ポイントとなる例は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし
<p>アウトサイド・エッジと定められているステップ(あるいはステップの一部)で、パートナーの一方あるいは両方ともが、ステップ(あるいはステップの一部)の途中でインサイド・エッジになってしまった場合、そのキー・ポイントはどう評価すればいいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ステップの最終拍については、次のステップに向けたプッシュ/トランジションを準備するため、チェンジ・エッジになってしまわない。 ■ ほかの理由でチェンジ・エッジをしてしまった、あるいは、そのステップ(あるいはステップの一部)の終わりまで1拍以上あるところでチェンジ・エッジをしてしまった場合、テクニカル・パネルは、キー・ポイント特徴「正確なエッジ」を認めない。 	<p>例:</p> <p>ヨーロピアン・ワルツ、第1シーケンスのキー・ポイント1(女性のステップ7、男性のステップ8)</p> <p>ヨーロピアン・ワルツ、第2シーケンスのキー・ポイント1(女性のステップ7、男性のステップ8)</p>
<p>テクニカル・パネルは、どうやって、キー・ポイントのステップ/エッジが規定の拍数、保たれたか否かをレビューすればいいのか。</p>	<p>キー・ポイントのキー・ポイント特徴は満たされたが、ステップ/エッジを規定の拍数保つにあたり、はっきりとしたエラーがあったか否かをテクニカル・パネルがレビューしなければならない場合、映像を再生し、キー・ポイントの数ステップ前から数ステップ後まで拍数を数える。こうすれば、ステップ/エッジを規定の拍数保つにあたり、はっきりとしたエラーがあったか否かを十分に判断できるはずである。</p>	<p>音声の再生は使えない。</p>

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) - キー・ポイントとキー・ポイント特徴**

質問(コール基準)	回答	備考
<p>パターン・ダンスのシーケンス／セクションに関するキー・ポイントで、フリー・レッグの動きがクリエイティブであった場合、どう判断すればいいのか。</p>	<p>キー・ポイント特徴として足の配置や動きが指定されているステップがあり、フリー・レッグの動きをクリエイティブとした結果、指定されている配置や動きが満たされなかった場合、テクニカル・パネルは、そのキー・ポイントを認めない。</p> <p>キー・ポイント特徴として指定されている足の配置や動きに影響しない形でクリエイティブなフリー・レッグの動きがなされた場合、テクニカル・パネルは、これを無視する。</p>	

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **シーケンス／セクションGOEの採点基準**

定義		出典
概要	各ジャッジは、パターン・ダンスのセクションごとに出来の質を採点する。採点は、エクセキューションのよい点およびエラーに応じて、11段階すなわち+5, +4, +3, +2, +1, 基礎値, -1, -2, -3, -4, -5で採点する。+あるいは-の各段階には価値尺度表に示す固有の+あるいは-の点数がある。この点数がセクションの基礎値に加点または減点される。セクションの採点基準はISUコミュニケーションで公表・更新する	規程第708条第3項a) (iii)
採点	必須要素のGOEはグレードを選ぶことで決定する。このグレードが、GOEの特徴の平均値となる。適用するGOEの特徴は現行のものとする。必要な場合には、GOEの調整に従ってこのグレードを調整する。	コミュニケーション第2315号

カテゴリー: **アイス・ダンス**
 件名: **シークエンス／セクションGOEの採点基準**

パターン・ダンス要素およびパターン・ダンスのGOE (2020～2021シーズン)												
	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	
特徴の数	よい特徴より悪い特徴／エラーが多い、記述されたステップに対して実施率が75%に満たない					基本的な出来具合	プラスよい特徴が1～2	プラスよい特徴が3～4	プラスよい特徴が5～6	プラスよい特徴が7～8 (悪い特徴／エラーはない)	よい特徴が8超 (悪い特徴／エラーはない)	
	悪い特徴が8超	悪い特徴が7～8	悪い特徴が5～6	悪い特徴が3～4	悪い特徴が1～2	よい特徴						
悪い特徴／エラー												
エクセキューション						エクセキューション						
1. コントロールを失い、支えが必要になった(つまずき／タッチダウンなど) (1回ごとに)						2	1. 質がよいエッジ／ステップ／ターンが正確、クリーン、確実				2	
2. コントロールを失ったが、支えは不要だった(1回ごとに)						1	2. エッジが深い				2	
3. ステップ／ターンが違う(1回ごとに) 例: チョクトウがモホークになったなど						1	3. 素々とスムーズにできている				2	
4. エクセキューションが悪い、苦しげに要素をこなしている、コントロールが不足している (1要素あたり悪い特徴は最大で3つ)。たとえば、チョクトウの入りや出がフラットなど。						1-3	4. ユニゾン(調和)と一体性が要素を通じてある				2	
5. ユニゾンがない						1	5. グライドや流れ(氷上の移動)が維持されている				2	
6. グライドや流れ(氷上の移動)がない						1	6. ホールドやポジションが正確でむらがなく、パートナー同士の距離が近い。				1	
7. ホールドやポジションが正しくない、コントロールされていない、パートナー同士の距離が変動する: パターンの50%未満＝悪い特徴が1つ パターンの50%以上＝悪い特徴が2つ						1-2	7. 両パートナーともに体のラインや身のこなしが選んだリズムに合い洗練されている				1	
8. パターンが正しくない						1	8. 正しいパターンで氷面を最大限に活用している				1	
音楽						音楽						
9. 選んだリズムの特徴やスタイルに合っていない						1	9. 選んだリズムの特徴やスタイルに合うニュアンス／アクセントになっている				1	
10. 規定のビートで始まらない(セクション／シークエンスごとに)						1	10. タイミングが100%完璧				2	
GOEの上限												
	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5	
要求拍数を守れたステップの数	要求拍数を守れたのがステップの75%未満 (パートナーの一方あるいは両方)* * 要求拍数を守れなかったステップの数 シニア: FS: 10以上 ジュニア: 1TTF: 9以上 2TTF: 7以上 *2人セットで1ステップと考え、パートナーの片方であれ両方であれ、エラーがあったステップを数えていく。					要求拍数を守れたのがステップやエッジの75%以上 (パートナーの一方あるいは両方) * 要求拍数を守れなかったステップの数 シニア: FS: 9以下 ジュニア: 1TTF: 8以下 2TTF: 6以下 *2人セットで1ステップと考え、パートナーの片方であれ両方であれ、エラーがあったステップを数えていく。		要求拍数を守れたのがステップやエッジの90%以上 (パートナーの一方あるいは両方) * 要求拍数を守れなかったステップの数 シニア: FS: 3以下 ジュニア: 1TTF: 3以下 2TTF: 2以下		要求拍数を守れたのがステップやエッジの100% (パートナーの両方)		
転倒／コントロール喪失(支えあり・なし)	深刻なエラーが複数あり2人とも転倒 PD中に2人とも転倒あるいは、エラーが多数		要素の始めに片方が転倒、または、要素の終わりに2人とも転倒	要素の終わりに片方が転倒、または、要素中に片方がちよつとだけ転倒(すぐ起きた)	2人ともつまずき／タッチダウンした。または、要素の25%以下が実行できなかった	コントロールを喪失したが、支えは不要だった(2回まで) または 片方がコントロールを失い(つまずき／タッチダウンなど)、支えが必要になった(数に従って減点する)					なし	

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **コンポーネンツの採点基準**

コンポーネンツの採点基準	出典
<p>ベーシックとインターミディエイトのノービスの場合、プログラム・コンポーネンツは以下を採点する.</p> <ul style="list-style-type: none">• スケーティング技術• パフォーマンス• タイミング	コミュニケーション第 2313号
<p>アドバンスト・ノービスの場合、パターン・ダンスのコンポーネンツは、すべてが採点対象となる.</p> <ul style="list-style-type: none">• スケーティング技術• パフォーマンス• 音楽の解釈(インタープリテーション)• タイミング	コミュニケーション第 2313号

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **コンポーネンツの採点基準**

定義		出典
概要	各ジャッジは、技術点(テクニカル・スコア)に加えて、スケーターの演技全体を4つの構成要素に分けて採点する。パターン・ダンスの4つの構成要素とは、スケーティング技術、パフォーマンス/エクセキューション、音楽の解釈(インタープリテーション)、タイミングのことである(ISUコミュニケーションで別段の定めがないかぎり)。	規程第708条第3項 b) (i)
スケーティング技術	定義: カップルがダンス・ステップを踏んだり氷上を動いたりする際の技術、および、スピード、流れ、氷面の利用という面における動きの有効性。 基準: <ul style="list-style-type: none">• 全体的なスケーティングの質• 流れと滑り• スピードと力強さ• パートナー間における技術とスケーティング能力のバランス• 氷面の十分な利用	規程第708条第3項 b) (i)
パフォーマンス/ エクセキューション	定義: 調和のとれた動作、体の使い方および表現を通じて好ましいアピールを行うため、パターン・ダンス滑走中、ユニゾン、体の向きの一致、身のこなし、スタイル、パフォーマンスのバランスを示す両パートナーの能力。 基準: <ul style="list-style-type: none">• ユニゾンと体の向きの一致• パートナー間の距離• 身のこなしとスタイル• パートナー間におけるパフォーマンスのバランス	規程第708条第3項 b) (i)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **コンポーネンツの採点基準**

定義		出典
音楽の解釈(インタープリテーション)	定義: パターン・ダンスのリズムの雰囲気, 感情および性格を表現する両パートナーの能力. 各ダンスの体の動き, ステップおよびホールドはその音楽の構造と性格を反映するので, これらを活用して表現する. 基準: <ul style="list-style-type: none">• リズムの性格が表現できているか• パートナー同士の関係がダンスの性格を反映しているか	規程第708条第3項 b) (i)
タイミング	定義: 音楽に厳密に合わせて滑り, かつパターン・ダンスのリズム・パターンを反映する両パートナーの能力. 基準: <ul style="list-style-type: none">• 音楽に合わせた滑走• 強拍に合わせた滑走• 第1ステップのスタート	規程第708条第3項 b) (i)
採点	構成要素は, ダンス終了後, 0.25から10まで0.25刻みの点数でジャッジが採点する. ジャッジが与える得点は, 以下に示す演技構成の各段階に対応する——1未満:きわめて劣る, 1:非常に劣る, 2:劣る, 3:弱い, 4:まあまあ, 5:平均的, 6:平均以上, 7:よい, 8:非常によい, 9:卓越, 10:傑出. 0.25の刻みは, ある特徴は1つの段階にあり, 他の特徴はその上の段階にあるといった演技を評価する際に用いる. 採点基準はISUコミュニケーションで公表・更新する.	規程第708条第3項 b) (ii)
	各構成要素の点数は, 特徴の過半数が満たされたレベルに応じて決定する.	コミュニケーション第2313号および第2315号

カテゴリー: **アイス・ダンス**
 件名: **コンポーネンツの採点基準**

コンポーネンツの特徴 - パターン・ダンス (出典: コミュニケーション第2313号)				
点数範囲	スケーティング技術の特徴	パフォーマンス/エクセキューションの特徴	音楽の解釈の特徴	タイミングの特徴
10.00 傑出 転倒や深刻なエラーが1つでもあれば、与えられない	<ul style="list-style-type: none"> 正確な体重移動でロープを変更 膝の動きが深く滑らか ステップ/ターンが優雅で正確 両方向とも滑らかにターンできる かなりのスピードとパワー 2人ともスキルがきわめて多彩 2人とも秀逸 	<ul style="list-style-type: none"> 一体となって動き、ユニゾンもホールド変更も完璧 スタイルが優雅で洗練されている 手足を含む体の線がきれい 2人とも魅惑的 2人とも投射力がきわめて高い 	<ul style="list-style-type: none"> 表現する動きや「心」のこもったしぐさが幅広く豊富 演技全体を通じて「持ち味が出ている」または「なりきっている」 2人一体となってニュアンスを表現 リズムの特徴を2人一体となって表現する能力がきわめて高い 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが100%正しい フットワークのタイミングが完璧 強拍に100%乗れている 体の動きがすべてリズムに合っている
9.75～9.00 卓越 転倒や深刻なエラーが複数ある場合、与えられない	<ul style="list-style-type: none"> 正確な体重移動でロープを変更 膝の動きが深く滑らか ステップ/ターンが優雅で正確 両方向とも滑らかにターンできる かなりのスピードとパワー 2人ともスキルがきわめて多彩 2人とも秀逸 	<ul style="list-style-type: none"> 一体となって動き、ユニゾンもホールド変更も完璧 スタイルが優雅で洗練されている 手足を含む体の線がきれい 2人とも魅惑的 2人とも投射力がきわめて高い 	<ul style="list-style-type: none"> 表現する動きや「心」のこもったしぐさが幅広く豊富 演技全体を通じて「持ち味が出ている」または「なりきっている」 2人一体となってニュアンスを表現 リズムの特徴を2人一体となって表現する能力がきわめて高い 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが100%正しい フットワークのタイミングが完璧 強拍に100%乗れている 体の動きがすべてリズムに合っている
8.75～8.00 非常によい	<ul style="list-style-type: none"> 膝の動きが深くしなやかで、ストロークが力強い ステップ/ターンがかっこよく、正確できれい 両方向とも楽々ターンしている 2人ともきわめて幅広い技術を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 協調した動きできわめてよく合っている ホールドを苦もなく変更 姿勢や体のラインがとてもよい 2人ともしっかり投射している 	<ul style="list-style-type: none"> スケーターと音楽が融合一心がこもっている 興味深い動きやしぐさがかなり豊富 リズムの特徴を2人一体となって表現する能力がかなり高い 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが100%正しい フットワークのタイミングがほぼ完璧 強拍に80%乗れている 体の動きは大半がリズムに合っている
7.75～7.00 よい	<ul style="list-style-type: none"> 膝の動きが力強く、柔軟 ステップ/ターンがクリーンで洗練されている 速度はほどほどで、ストロークは力強い 2人とも幅広い技術を有している 	<ul style="list-style-type: none"> カップルとして動いている 調和があり、楽々とホールドを変えている 姿勢や体のラインがよい 2人ともほぼ常に投射している 	<ul style="list-style-type: none"> スケーティングと音楽が1つになっている一心のこもり具合にはむらがある ダンスの大半でリズム特性に合っている ニュアンスが表現できている パートナー同士の関係がよい 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが70%正しい フットワークのタイミングがとてもよく、強拍に70%乗れている 体の動きがだいたいリズムに合っている
6.75～6.00 平均以上	<ul style="list-style-type: none"> 膝の動きが平均以上 演技時間の60%はステップ/ターンがよい 速度も流れもよく保たれている 2人ともスキルが平均以上に多彩 	<ul style="list-style-type: none"> ユニゾンが平均以上で、演技時間の60%はカップルとして動いている 手足を含む体の線も姿勢も平均以上 2人とも、演技時間の60%、投射できている 	<ul style="list-style-type: none"> 演技時間の60%、なりきった動きになっている ニュアンスがある程度表現できている 演技時間の60%はパートナーらしい関係がある 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが60%正しい フットワークのタイミングが正確 強拍に60%乗れている リズムにあった体の動きがある

カテゴリー： **アイス・ダンス**
 件名： **コンポーネンツの採点基準**

コンポーネンツの特徴－パターン・ダンス (出典：コミュニケーション第2313号)				
点数範囲	スケーティング技術の特徴	パフォーマンス／エクゼキューションの特徴	音楽の解釈の特徴	タイミングの特徴
5.75～5.00 平均的	<ul style="list-style-type: none"> 膝がそれなりに動いている ステップ／ターンの能力や両方向への回転能力がそれなりにある 速度も流れも全体に安定している 2人ともスキルが平均的に多彩 	<ul style="list-style-type: none"> 時々ユニゾンが崩れる 時々崩れるが、姿勢や体のラインは平均的 手足を含む体の線が全体に好ましい 投射力にむらがあるが、2人とも、投射はできている 	<ul style="list-style-type: none"> 片方の動きには心が感じられる アクセント／ニュアンスがそれなりに活用されている リズムの表現とアクセント／ニュアンスの活用が平均的 音楽との情緒的つながりが平均的 パートナー同士の関係はまずまず 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが50%正しい 時々狂うが、タイミングは基本的に正しい 強拍に50%乗れている 時々、体の動きがリズムに合わない
4.75～4.00 まあまあ	<ul style="list-style-type: none"> 膝の動きにむらがある ステップ、ターンの技術はまあまあ 技術レベルもほぼ同じ 速度と流れが安定しているのは演技時間の40%のみ 	<ul style="list-style-type: none"> 時々ユニゾンが崩れる 姿勢や体のラインにむらがあるが、大半は好ましい 手足を含む体の線はまずまず 1人しか投射できていない、あるいは、2人とも演技時間の40%しか投射できていない 	<ul style="list-style-type: none"> リズムが正しく表現されている 時々、心の感じられる動きがある 演技時間の40%はパートナーらしい関係がある 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが40%以上正しい 時々若干狂うが、タイミングは、ほぼ正しいことが多い 強拍には40%乗れている リズムに合わない体の動きが多い
3.75～3.00 弱い	<ul style="list-style-type: none"> 確実性や流れにむらがある 膝の動きが悪く、かたいことがある ターン能力にむらがある スピードとパワーにむらがある 2人とも技術にむらがあり、時々、2人の間に差が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ホールドがちぐはぐで、分かれて動くことが多い ユニゾンにむらがある まずまずのこともあるが、手足を含む体の線や姿勢にむらがある 投射できているのが、演技時間の30%、片方のみ 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに合うときもあるが表現はまあまあのレベルで、全体として様になったりなかったりする 時々、心の感じられる動きがある 時々、パートナーらしい関係が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが30%しか正しくない タイミングの外れた部分がある 強拍に乗れているのは30%のみ タイミングの外れた動きがある
2.75～2.00 劣る	<ul style="list-style-type: none"> パワーがないに等しいワイド・ステップまたは80%以上がトゥ・ブッシュ 楽にこなせるのは簡単なターンのみ スキルにむらがあり、能力にもあちこちで差が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ホールドが安定せず、時々ユニゾンが崩れる 手足を含む体の線、姿勢、手足の伸びが劣る 投射力が限られている→2人ともおっかなびっくり 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせたステップもあるが、リズムは無視されている アクセントやニュアンスの活用が下手 まれにパートナーらしい関係が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが20%以下しか正しくない 強拍に乗れているのは20%のみ タイミングの外れた動きがほとんど
1.75～1.00 非常に劣る	<ul style="list-style-type: none"> 速度が遅く、流れがない トゥ・ブッシュやワイド・ステップが多い 左右のストロークに差がある 基本技術が非常に貧弱で、片方が「運ばれる」部分がある 	<ul style="list-style-type: none"> ホールドやユニゾンで苦勞している 動きが合わずユニゾンがない 手足を含む体の線、姿勢、手足の伸びが非常に劣る 表現力がごく限られている 	<ul style="list-style-type: none"> 動きがリズムや曲想と無関係に見える ニュアンスへの配慮がほとんどない パートナーらしい関係はほぼない 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが20%以下しか正しくない 強拍に乗れているのは20%未満 ダンスの大部分でタイミングを外している 動きのタイミングを制御できていない
0.75～0.25 極めて劣る	<ul style="list-style-type: none"> バランスが取れていない ステップ／ターンで苦勞している 速度も流れもない 2人とも基本技術がきわめて劣る 	<ul style="list-style-type: none"> ホールドが不安定で、ユニゾンも調和もコントロールできていない 手足を含む体の線、姿勢、手足の伸びがきわめて劣る 投射力がない→2人とも滑るだけで精いっぱい 	<ul style="list-style-type: none"> しぐさが唐突で、曲想やニュアンス、アクセントとも関係なく、意味がないと思われる パートナーらしい関係がなく、「ソロ」2人になっている 	<ul style="list-style-type: none"> タイミングが完全に外れている 強拍にまったく乗れていない

注)

*転倒または中断がその後のプログラムの全体または一部に影響した場合、1つのまたは複数のプログラム・コンポーネンツが影響を受ける可能性がある。

*どの構成要素であっても、転倒または重大エラーがある場合、10点は与えられない。

*どの構成要素であっても、複数の転倒または複数の重大エラーがある場合、9点台は与えられない。

カテゴリー：アイス・ダンス

件名： コンポーネンツの採点基準

プログラム・コンポーネンツ – アイス・ダンス

スケーティング技術		トランジション	パフォーマンス	構成	音楽の解釈(インタープリテーション)
総合的なクリーンさや確実性、スケーティングの諸手段(エッジ、ターン、ステップ等)を自在に駆使することで示されるエッジ・コントロールや氷上における流れ、明確な技術、無理のない加速やスピード変化を指す。		要素をつなぐ部分で、一定の目的のもと、複雑なフットワーク、ポジション、動作、ホールドを多彩に組み合わせたもの。	スケーター／ペア／カップルが氷上で音楽と構成の意図を示すにあたり、体の動き、感情の表現、知性の表出が十分にあること。	計画的、発展的、および／または独創的な各種動作の構成のことで、フレーズ、空間、パターン、構造の諸原則に従う。	音楽のリズム、特徴、内容を个性的で創造的かつ純粋に氷上の演技へ移し換えること。
ディープ・エッジ、ステップ、ターンの利用		ある要素から別の要素までの動きが連続していること	体の動き、感情の表現、知性の表出	目的 (アイデア、コンセプト、ビジョン、雰囲気)	音楽に合った動作とステップ(タイミング)
バランス、リズムカナルな膝の動き、足運びの正確さ		多様さ(アイス・ダンスではホールドの多様さを含む)	投射	パターン/氷面の十分な利用	音楽の特徴／雰囲気およびリズムの表現(はっきり特定できる場合)
流れと滑り		難度	身のこなしと動作の明確さ	空間と動きの多次元的利用	音楽の細部とニュアンスを反映するフィネスの利用
パワー、スピード、加減速の多彩な利用		質	動きやエネルギーの多様さとめりはり	フレーズとフォーム(フレーズに合わせた動きや部分)	音楽の特徴とリズムを反映するスケーター同士の関係(ペア・スケーティング、アイス・ダンス)
あらゆる方向へのスケーティングの利用			個性／人柄	構成の独創性	リズム・ダンスでは主としてリズムカナルなビートにのって滑走すること、フリー・ダンスではビートに合わせた滑走とメロディに合わせた滑走のバランスがよいこと(アイス・ダンス)
片足スケーティングの利用			ユニゾンと「一体性」 (ペア・、アイス・ダンス)		
			パートナー間の空間的認識 (ペア、アイス・ダンス)		
分類	評価の範囲	定義	新規追加ー以下があった場合……	アイス・ダンスの場合の影響	
プラチナ	10.00	傑出	深刻なエラー	最大9.75(SS, TR, CO, PE, IN)	
ダイヤモンド	9.00～9.75	卓越	複数の深刻なエラー	最大8.75(SS, TR, CO, PE, IN)	
ゴールド	8.00～8.75 7.00～7.75	非常によい よい			
グリーン	6.00～6.75 5.00～5.75	平均以上 平均的			
オレンジ	4.00～4.75 3.00～3.75	まあまあ 弱い			
レッド	2.00～2.75 1.00～1.75 0.25～0.75	劣る 非常に劣る きわめて劣る			

*注)「転倒」は深刻なエラーとみなす

2020年5月

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **衣装**

		出典
制限	<p>ISU選手権大会およびオリンピック冬季大会、国際競技会において、競技者の衣装は節度と品位のあるものでスポーツ競技会に適するものでなければならない。芝居じみていたり、けげんばしいデザインのものとは許されない。ただし、選んだ音楽の特徴を反映する衣装とすることはかまわない。衣装（コスチューム）は当該競技種目用として不適切なほど過度に肌を出したように見えるものであってはならない。男子は下まで長いズボンを着用しなければならない。また、アイス・ダンスにおいて、女子はスカートを着用しなければならない。アクセサリーや小道具は使えない。上記ガイドラインを満たさない衣装には減点が与えられる(第353条第1項n)参照)。</p> <p>2020～2021シーズンのシニアおよびジュニアにおいては、女性も、リズム・ダンスでズボンを着用することができる。</p> <p>衣装の飾りは取り外してはならない。衣装の一部または飾りが氷上に落ちた場合、減点が与えられる(第353条第1項n)参照)。</p>	<p>規程第501条</p> <p>ISUコミュニケーション第2314号</p>

カテゴリー: アイス・ダンス

件名: ノービスにおける減点 — 減点責任者と記号

減点責任者 — 減点表 — ノービス(2020～2021シーズン)

内容	罰則	責任者
演技時間違反 — フリー・ダンス — ノービ・コミュニケーション第2313号による	5秒までの過不足ごとに-0.5	レフェリー
要素／動作の違反 — 規程の第709条および第710条第3項による ・ リフトにおけるリフト動作／ポーズの違反(規程第704条第16項) ・ 1回転を超えるジャンプ(またはスロウ・ジャンプ)または両パートナーが同時に1回転のジャンプ。氷上に横たわること	違反ごとに-1.0	テクニカル・パネル** TSが特定し、TCが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしTCによる訂正要求に両TSとも賛同しない場合はTSとATSによる当初の決定が維持される。どの要素であってもその実行中に違反動作があれば減点が適用され、その要素がレベル1以上の要件を満たしている場合はレベル1とコールされる。上記以外の場合、レベルBの要件が満たされていればレベルB、そうでない場合はノーレベルとコールされる。
演技時間違反 — パターン・ダンス — 規程第706条第6項による	パターン・ダンスとして定められたステップを最後まで終えた後、終わりの動作/姿勢を取るために許された時間を5秒まで超過することに-0.5	レフェリー
衣装／小道具の違反 — 規程第501条第1項による	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー+ジャッジ* 全ジャッジとレフェリーによるパネルの多数決で減点を適用する。意見が50:50に割れた際は減点されない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。
衣装／装飾品の一部の氷上落下 — 規程第501条第1項による	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー
転倒 — パートナーの1人が転倒することにより、パートナーの両方が転倒することにより 転倒とは、「スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体のブレード以外の部分、たとえば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態」と定義されている(規程第503条第1項)。	-0.5 -1.0	テクニカル・パネル** テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・コントローラーが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしテクニカル・コントローラーによる訂正要求に両テクニカル・スペシャリストとも賛同しない場合はテクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストによる当初の決定が維持される。
演技開始の遅れ — 規程第350条第2項による — 1秒から30秒遅れて開始した場合	-0.5	レフェリー
10秒を超える演技の中断 - 10秒超, 20秒以下 - 20秒超, 30秒以下 - 30秒超, 40秒以下 中断とは、競技者が演技を止めた瞬間あるいは演技を止めるようレフェリーが指示した瞬間のいずれか早いほうから、競技者が演技を再開した瞬間までを指す。(規程第515条第1項)	-0.5 -1.0 -1.5	レフェリー*** 中断が40秒を超えた場合、レフェリーが音による合図を発し、そのカップルは棄権扱いになる。この減点数値は規程第353条第1項n)に定められた標準的なものではないので、レフェリーは、毎回、システムを操作する担当者に具体的な指示を出すとともに、入力が正しいことを確認しなければならない。

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **ノービスにおける減点 — 減点責任者と記号**

内容	罰則	責任者
3分以内であれば中断箇所から再開してよい範囲の演技の中断 (規程第515条第3項b) この減点数値は規程第353条第1項n)に定められた標準的なものではないので、レフェリーは、毎回、システムを操作する担当者に具体的な指示を出すとともに、入力が正しいことを確認しなければならない。	-2.5	レフェリー*** 中断開始後40秒以内にパートナーのいずれもレフェリーに申告しなかった場合、あるいは与えられた追加の3分間以内にカップルが演技を再開しなかった場合、そのカップルは棄権とされる。この減点数値は規程第353条第1項n)に定められた標準的なものではないので、レフェリーは、毎回、システムを操作する担当者に具体的な指示を出すとともに、入力が正しいことを確認しなければならない。
余分な要素 <ul style="list-style-type: none"> 余分な要素—ステップ・シークエンス中のリフトまたはスピン (RoLi+ExEl, Sp+ExElなど) 追加の要素—フリー・ダンスのウェルバランス構成に従わないとしてコンピュータが検出したもの (CuLi*など)。 	要素ごとに-0.5 要素は無価値となる	コンピュータが減点を適用する。 テクニカル・コントローラーがコールを認定あるいは訂正し、適用された減点を確認する。
振付制限違反 フリー・ダンス: 規程第710条第1項i)セパレーション、h)ストップ、j)手で水に触れる、による (ISUコミュニケーションで別途指定された場合を除く)	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー+ジャッジ* 全ジャッジとレフェリーによるパネルの多数決で減点を適用する。意見が50:50に割れた際は減点されない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。
許容時間を超えるリフト — 7秒 (ショート・リフト), 10秒 (コレオ・リフト), 12秒 (コンビネーション・リフト) を超過したリフトごとにリフト	リフトごとに-0.5	レフェリー
音楽要件 — 規程第707条第5項 (リズム) による: 音楽は、パターン・ダンスのリズムに合ったものを選ばなければならない ISU 公式アイス・ダンス音楽から選んでもよいが、その場合、選んでよいのは1番から5番の曲のみである。	プログラム全体に対して-1.0	レフェリー+ジャッジ*
テンポ指定 — 規程第707条第5項 (テンポ) による: 規程第707条第5項 (テンポ) において、「テンポは、規定されたシークエンスのあいだ一定でなければならないし、当該パターン・ダンスに定められたテンポ (ISU アイス・ダンス・ハンドブック2003およびISUウェブサイトで公開されているベーシック・ノービス向けパターン・ダンスのパターンとその説明を参照のこと) に対して±2拍/分に収まっていなければならない」と定められている。	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー
テンポ指定 — 規程第707条第5項 (テンポ) による: 規程第707条第5項 (テンポ) において、「テンポは、規定されたシークエンスのあいだ一定でなければならないし、当該パターン・ダンスに定められたテンポ (ISU アイス・ダンス・ハンドブック2003およびISUウェブサイトで公開されているベーシック・ノービス向けパターン・ダンスのパターンとその説明を参照のこと) に対して±2拍/分に収まっていなければならない」と定められている。	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー

カテゴリー：アイス・ダンス

件名：ノービスにおける減点 — 減点責任者と記号

記号	項目	説明
<	= レベルを1段階引き下げる。PDで4拍以内の中断があった場合。 (インターミディエイトおよびアドバンスのみ)	パターン・ダンスで4拍以内の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは1段階下げられる。「Judges Details per Skater」の表には「<」と記載し、4拍以内の中断があったことを示す。 アドバンス・ノービスの例: Yes, Yes — レベル3からレベル2に引き下げ インターミディエイト・ノービスの例: Yes — レベル2からレベル1に引き下げ
<<	= レベルを2段階引き下げる。PDで4拍を超える中断があった場合 (インターミディエイトおよびアドバンスのみ)	パターン・ダンスで4拍を超える中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは2段階下がる。「Judges Details per Skater」の表には<<と記載し、4拍を超える中断があったことを示す。 例: Yes, Yes, — レベル2からレベルBに引き下げ
!	= ノーレベルとする。PDで50%を超える中断があった場合。	パターン・ダンスで実施できたステップが50%未満であった場合、テクニカル・スペシャリストはキー・ポイントを実行されたとおりコールするとともに、そのパターン・ダンスの名前と「ノー・レベル」に加え、「アテンション」とコールする。「Judges Details per Skater」の表には「!」と記載し、パターン・ダンスの50%未満しか完了されなかったことを示す。例: Yes, Yes — レベル3からノー・レベルに引き下げ
>	= 0.5点減点。ダンス・リフトが長すぎた場合。	ダンス・リフトが許された時間より長かった場合、レフェリーが0.5点の減点を適用する。リフトの長さは、レフェリーが電子的に確認する。
ExEl	= 0.5点減点。「余分な要素」に対して。	ステップ・シークエンス中にリフトやスピンをを行った場合 (RoLi+ExEl, Sp+ExElなど)、0.5点の減点が適用される。
*	= 0.5点減点。要件に合わない「追加の要素」に対して。	リズム・ダンスの要件やフリー・ダンスのウェルバランス構成を満たさない追加の要素が行われた場合、0.5点の減点が適用される。
F	= 要素中に転倒した場合	要素中に転倒があった場合、テクニカル・スペシャリストが要素中の転倒と認定し、該当する「Fall in Element」ボタンをデータ・オペレーターが押す。

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

フォーティーン・ステップ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-1) — インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

音楽 - マーチ, 6/8拍子または2/4拍子

テンポ - 2拍子56小節/分

- 4拍子28小節/分

- 112拍/分

パターン - セット

時間 - 4シーケンスの滑走に必要な時間は43秒.

ステップ1から7は、女性バックワード、男性フォワードのクローズド・ホールドで滑る。ダンス最初の3ステップはプログレッシブシーケンスで、中央線に向かうカーブを描く。ステップ4はフェンス長辺に向かう4ビートのスウィング・ロールである。このスウィング・ロールでは、フリー・レッグの動きが調和していること、また、2人の距離が離れないことが大事である。続くステップ5から7は、また、プログレッシブシーケンスとなる。ステップ7はステップ3よりやや浅いカーブを滑る。その後、ステップ8で女性はフォアへ踏み出し、男性のモホークが終わるまで、オープン・ホールドで男性のすぐ横を滑る。

ステップ1から7はコンティニューアス・アクシスに沿って滑り、ステップ8から14でパターン両端のカーブを描く。男性は、ステップ9のオープン・インサイド・モホーク後、肩をチェックして回転を止める。ここからパターンの最後にかけて、両パートナーとも、肩をトレースに対してほぼ平行に保つこと。ステップ8から12は、女性の右腰が男性の右腰に来るオフセットのクローズド・ホールドで、女性はフォア、男性はバックに滑る。女性のステップ9はクロス・ビハインド・シャッセで、ステップ11はプログレッシブである。男性はステップ10をスケーティング・フットのすぐ横に置く形で滑り、ステップ11と12のプログレッシブ・シーケンス、ステップ13のクロス・イン・フロントと続ける。その間、女性は少しずつ男性より先に進み、ステップ12と13でオープン・アウトサイド・モホークを行う。男性は、ステップ13が終わったらフォアにターンしてステップ14を踏む。ステップ14で、ホールドは、スタート時のクローズド・ホールドに戻る。

歩いたり走ったりするのではなく、踊るために、音楽のリズムに合わせて膝を柔らかく動かし、余裕にあふれた優雅な流れを生み

出さなければならない。また、所定のエッジでスピードに乗って滑るため、体を十分に傾けることが必要である。

テストでも競技会でも、ダンスは、ルールに指定された通りに滑らなければならない。ただし、たくさんのカップルが氷に乗るダンスセッションで、氷面の状況が許すなら、2ロールとしたほうがよい。

考案者 - フランツ・シュラー

初演 - 1889年、ウィーン。テン・ステップまたはシュラー・マーチとして滑走された。

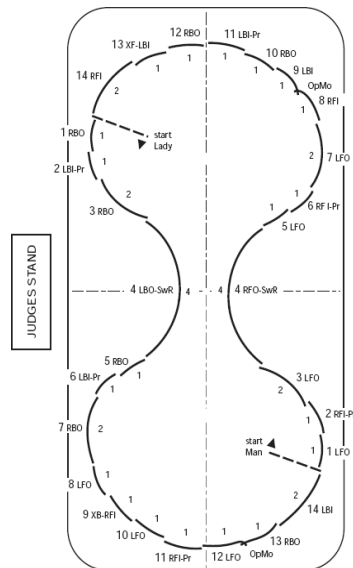
カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

フォーティーン・ステップ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-1) — ベーシック・ノービス (キー・ポイントなし), インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数	女性のステップ
クローズド	1	LFO	1	RBO
	2	RFI-Pr	1	LBI-Pr
	3	LFO	2	RBO
	4	RFO-SwR	4	LBO-SwR
	5	LFO	1	RBO
	6	RFI-Pr	1	LBI-Pr
	7	LFO	2	RBO
ややオフセットのクローズド	8	RFI OpMo	1	LFO
	9	LBI	1	XB-RFI
	10	RBO	1	LFO
	11	LBI-Pr	1	RFI-Pr
	12	RBO	1	LFO
	13	XF-LBI	1	RBO Op Mo
クローズド	14	RFI	2	LBI

シーケンスごと (FO1Sq, FO2Sq, FO3Sq FO4Sq)	キー・ポイント 女性・男性のステップ1~4 (RBO, LBI-Pr, RBO-SwR, LBO-SwR)
キー・ポイントの特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正確なエッジ 2. SwR (#4) フリー・レッグの正確なスウィング動作 3. Pr (#2) シャツセになっていないこと



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

フォックストロット (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-2) インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

音楽 - フォックストロット, 4/4拍子
テンポ - 4拍子25小節/分
- 100拍/分
パターン - オブショナル
時間 - 4シーケンスの滑走に必要な時間は1分7秒。

ダンスの最初はオープン・ホールドで, 2人の肩と腰がごく近い状態で滑り始める。ステップ2は, 2人ともクロス・ビハインド・シャッセである。ステップ4aでは, 男性がクロス・ロールからのスリー・ターンをして, クローズド・ホールドとなる。女性はクロス・ロールでステップ4に入り, そこから4カウント, フリー・レッグを後ろに伸ばしたままにする。なお, 男性の足換えに合わせ, カウント3で膝を曲げてアクセントをつけること。その際は, ランジにならないよう注意が必要である。ステップ4bと5で, 男性は, 自分の前方でフリー・フットを氷から浮かせ, その後スケーティング・フットの横まで引き寄せて次のステップへ進む。

ステップ5では, 男性がRBOエッジに乗り, 女性がクロス・ロールからのスリー・ターンを行う。ステップ7は2人ともプログレッシブである。ここからステップ8の終わりまではクローズド・ホールドとなる。その後, 男性は, 右肩が向き合うところまで女性に対して横移動し(ほぼアウトサイド・ホールドとなる), クロス・ロールからのスリー・ターン(ステップ9)に入る。

ステップ10で, ホールドはクローズドに戻る。次の男性がプログレッシブをしているステップ11で, 女性はモホークの準備をする。このとき, フリー・レッグはスウィングしない。後ろに伸ばしたあと, スケーティング・フットのかかとまで引き寄せ(外側にしっかり開いておくこと), カウント

1でアウトサイドのクローズド・モホークを行う。ステップ10と11を正確なエッジで滑らないと, このモホークがやりにくくなる。

ステップ12では, 2人そろってフリー・レッグを高く上げてから, ゆっくりと下ろしてくる。カウント4で, ステップ13に備えてスケーティング・フットのかかとまで引き寄せること。ステップ13は, スケーティング・フットのかかと近くから滑り出す。ステップ14は, スケーティング・フットの近くから滑り出すオープン・ストロークである。ステップ13と14は, いずれも, インサイド・エッジにしっかり乗ること。

フォックストロットは踊るものであって, 歩くものではない。膝が柔らかく動き, 流れるようであればならない。フリー・フットは, 必ず, スケーティング・フットのすぐ近くで氷に下ろすこと。このダンスは, 半円形のロープをディープ・エッジで滑るように作られている。

考案者 - エリック・バン・デア・ワイデン, エバ・キーツ
初演 - 1933年, ロンドン, ウェストミンスター・アイスリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

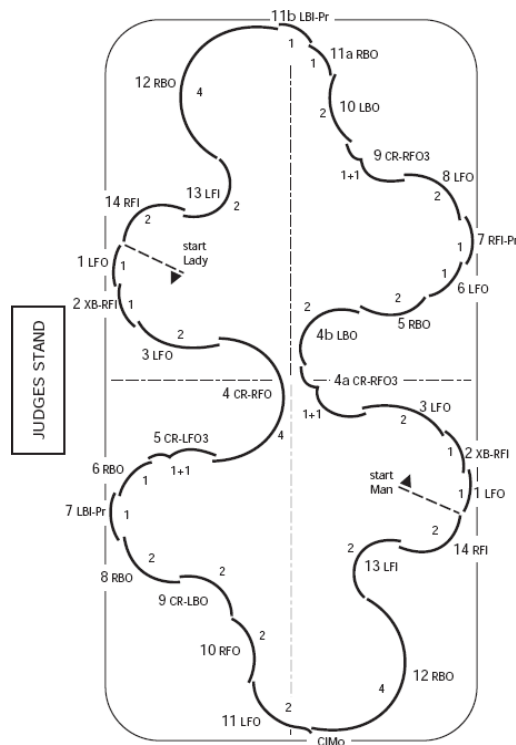
件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

フォックストロット (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-2) インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
オープン	1	LFO		1		LFO
	2	XB-RFI		1		XB-RFI
	3	LFO		2		LFO
クローズド	4a	CR-RFO3	1+1		4	CR-RFO
	4b	LBO	2			
	5	RBO	2		1+1	CR-LFO3
	6	LFO		1		RBO
	7	RFI-Pr		1		LBI-Pr
*	8	LFO		2		RBO
	9	CR-RFO3	1+1		2	CR-LBO
クローズド	10	LBO		2		RFO
	11a	RBO	1		2	LFO
	11b	LBI-Pr	1			CIMo
オープン	12	RBO		4		RBO
	13	LFI		2		LFI
	14	RFI		2		RFI

*ステップ8の最後はバーチャル・アウトサイド・ホールド

シーケンスごと (FT1Sq, FT2Sq, FT3Sq, FT4Sq)	キー・ポイント 女性のステップ11~14(LFO CIMo, RBO, LFI, RFI)と男性のステップ11a~14(RBO, LBI-Pr, RBO, LFI, RFI)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. CIMo - フリー・フットの正確な配置



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ロッカー・フォックストロット (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-3)

音楽	- フォックストロット, 4/4拍子
テンポ	- 4拍子26小節/分 - 104拍/分
パターン	- セット
時間	- 4シーケンスの滑走に必要な時間は1分5秒。

ロッカー・フォックストロットはリンク端の中央線上からスタートし、リンクを縦半分に割った半面上で、フェンスに向けて膨らむロープ3つと中央線に向けて膨らむロープ2つを滑る。つまり、リンク1周は2シーケンスとなる。

ステップ1から4は2人が同じステップをオープン・ポジションで滑るもので、クロス・ビハインド・シャッセにプログレッシブが続く。ステップ5では、男性が左右のアウトサイド・エッジを滑っている間に女性が4ビートのLFOスウィング・ロッカーを行う。このスウィング・ロッカーは、フリー・レッグをスウィングするもので、フリー・レッグがスケーティング・フットを追い越し、前方に伸びてからターンすること。クリーンなアウトサイド・エッジからアウトサイド・エッジへ、ステップのカウント2でターンすれば、カウント3に女性が膝を柔らかく曲げて沈み込む動きが、男性側RFOによる膝の曲げと同時に滑る。スウィング・ロッカー後、女性はフリー・レッグを前方に振り、男性のフリー・レッグにそろえる。スウィング・ロッカー後もパターンは中央線に向かうが、その後、カーブを描いて中央線から離れていく。2人ともアウトサイド・エッジに乗るよう注意しなければならない。

スウィング・ロッカーでホールドはいったんクローズドとなるが、ステップ7bから最後までは、また、オープン・ホールドに戻って滑る。LFO3を行う男性のステップ6は、パートナーの真正面に向かい、オープン・ストロークで踏みださなければならない。

ステップ8はクロス・ロールである。ステップ10と11はアウトサイド・エッジにしっかり乗る。ステップ11と12では、2人そろってアウトサイドのクローズド・モホークを行う。フリー・レッグは、最初、開いて後ろに伸ばしておき、その後、モホークのタイミングでスケーティング・フットのかかとまで引き寄せること。男性は、ステップ11のカーブが深くなりすぎないように注意しなければならない。男性の横に位置して一緒にモホークに入るためには、女性は、男性以上に深いカーブを描くことになるからだ。ターンに入る時点で肩がしっかりチェックされていなければ、正しい位置関係にはならない。パターンの最後を丸く滑り、中央線から次のシーケンスを始められるように、モホークは、フェンス長辺に向けて行う。モホーク後のステップ12と13は、2人とも、そのままゆっくりと時計方向に回転し、ステップ14でフォアに踏み出して、次のシーケンスの準備を完了する。なお、ステップ13のクロス・イン・フロントは、2人とも、センター・ライン付近で始めること。

ロッカー・フォックストロットは、その特徴を十分に表現するため、膝をよく動かし、また、傾きを調整しつつ、流れのある滑りとしなければならない。

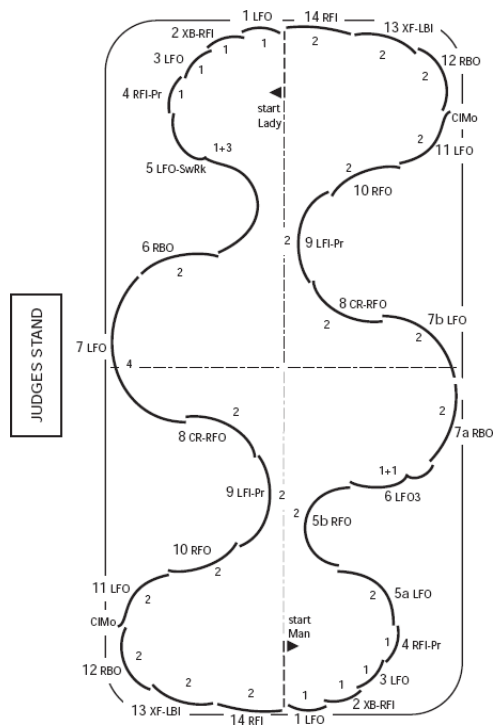
考案者	- エリック・バン・デア・ワイデン, エバ・キーツ
初演	- 1934年, ロンドン, ストリーサム・アイズリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ロッカー・フォックストロット (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-3)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
オープン	1	LFO		1		LFO
	2	XB-RFI		1		XB-RFI
	3	LFO		1		LFO
	4	RFI-Pr		1		RFI-Pr
クローズド	5a	LFO	2		1+3	LFO-SwRk
	5b	RFO	2			
	6	LFO3	1+1		2	RBO
オープン	7a	RBO	2		4	LFO
	7b	LFO	2			
	8	CR-RFO		2		CR-RFO
	9	LFI-Pr		2		LFI-Pr
	10	RFO		2		RFO
	11	LFO CIMo		2		LFO CIMo
	12	RBO		2		RBO
	13	XF-LBI		2		XF-LBI
	14	RFI		2		RFI



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ヨーロピアン・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-4) インターミディエイト・ノービス (2020～2021シーズン)

音楽	- ワルツ, 3/4拍子
テンポ	- 3拍子45小節/分
	- 135拍/分
パターン	- セット
時間	- 2シーケンスの滑走に必要な時間は48秒.

ヨーロピアン・ワルツは、男性側がクロス・ロール・スリー・ターン、バックワード・アウトサイド・エッジ、フォワード・アウトサイド・エッジ、女性側がバックワード・アウトサイド・エッジ、スリー・ターン、バックワード・アウトサイド・エッジを基本ステップとするダンスである。リンクの長辺に沿って、最初は中央線に向けて滑り出すロープ。2番目はフェンスに向けて滑り出すロープという具合に、この基本ステップで半円形のロープをくり返し描いていく。どのロープも完全な半円形となり、その始まりが中央線に対して直角となるよう、特に注意すること。

上記ロープをくり返したあと、パターンの後半では、スリー・ターンとバックワード・アウトサイド・エッジのくり返しによる大きなロープで次のシーケンスの始まりまで滑っていく。この大きなロープでは、両パートナーともスリー・ターンを4回行うのが通例だが、氷面が広い場合にはその回数を増やしてもよい (ISUジャッジング・システムでは、このスリー・ターンがいくつであってもダンスのセクションとしては同じと判断することになっている)。この点だけは、変更が許されている。

各ロープ最初の男性スリー・ターンは、クロス・ロールである。対して、女性のバックワード・アウトサイド・エッジはオープン・ストロークで始める。スリー・ターンは、必ず、3拍目で行う。このようなやり方のターンは、「ヨーロピアン・ワルツ型スリー・ターン」と呼ばれている。エッジは、すべて、3ビートである。

ホールドは、最初から最後までクローズドで、パートナー同士、寄り添った状態を保たなければならない。回転軸は2人共通であるべきだし、回転は連続的であるべきである。ただし、回転方向は、各ロープの起点で逆転する。すなわち、リンクのフェンスに向けて滑り出すロープは左回転、中央線に向けて滑り出すロープは右回転となる。回転は、しっかりコントロールしなければならない。そのためには、フリー・フットをスケートイング・フット近くに保つのが一番である。スリー・ターンは必ずチェックして、回りすぎを防ぐこと。

姿勢をまっすぐに保つ、むらなく力強いストロークとする。毎回同じようにフリー・レッグを伸ばす、膝をリズミカルに曲げ伸ばすなどすると、ワルツらしく踊ることができる。

考案者	- 不詳
初演	- 1900年以前、場所は不詳

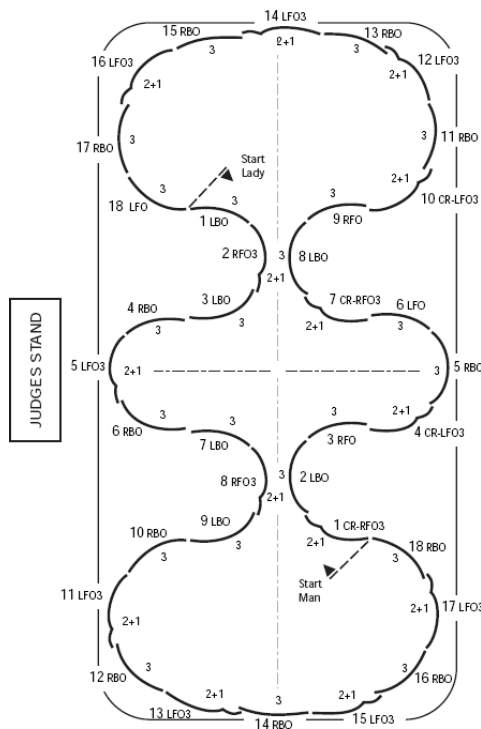
カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ヨーロッパ・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-4) インターミディエイト・ノービス (2020～2021シーズン)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
クローズド	1	CR-RFO3	2+1		3	LBO
	2	LBO	3		2+1	RFO3
	3	RFO		3		LBO
	4	CR-LFO3	2+1		3	RBO
	5	RBO	3		2+1	LFO3
	6	LFO		3		RBO
	7	CR-RFO3	2+1		3	LBO
	8	LBO	3		2+1	RFO3
	9	RFO		3		LBO
	10	CR-LFO3	2+1		3	RBO
	11	RBO	3		2+1	LFO3
	12	LFO3	2+1		3	RBO
	13	RBO	3		2+1	LFO3
	14	LFO3	2+1		3	RBO
	15	RBO	3		2+1	LFO3
	16	LFO3	2+1		3	RBO
	17	RBO	3		2+1	LFO3
	18	LFO		3		RBO

シーケンスごと (EW1Sq, EW2Sq)	キー・ポイント 女性のステップ6～8 (RBO, LBO, RFO3) & 男性 のステップ6～8 (LFO, CR-RFO3, LBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

アメリカン・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-5)

音楽	- ワルツ, 3/4拍子
テンポ	- 3拍子66小節/分 - 198拍/分
パターン	- セット
時間	- 2シーケンスの滑走に必要な時間は58秒.

アメリカン・ワルツは、中央線に近づく向きに滑り出す半円形のロープと中央線から離れる向きに滑り出す半円形のロープが連なった形となっている。なお、リンク両端では、6ビートのアウトサイド・スウィング・ロールでロープの連続をつないでいる。フェンス短辺近くのロープ2つがほかのロープより中央線に近いところで終わっているのは、このスウィング・ロールひとつでつなげるようにするためである。ステップは、すべて、同じ深さのカーブで滑る。そして、中央線に対して直角に始まる大きな半円形のロープを3ステップで描いていく。

ロープの向きが変わるごとに左右反転する以外、ステップはどのロープも同じである。シーケンスはこれ以上ないほど単純だが、回ってばかりなので、正しく滑るのは至難の業である。スムーズに回るためには、肩を平行に保ち、2人の真ん中を軸に回転する必要があり、一方が他方を中心にひよいひよい跳ね回るようなスウィング・スリー・ターンをしてはならない。回転は途切れることなく一定でなければならず、回ったり止まったりをくり返す、ぎくしゃくしたものではいけない。

アメリカン・ワルツはどのステップも6ビート(2小節)なので、1ステップがかなりの長さになる。フリー・フット/レッグは、膝を曲げることなく、付け根からスウィングしなければならない。スリー・ターンは両足をそろえて行うが、そのとき、フリー・フットの動きが止まらないようにしなければならない。

また、スリー・ターンをする前にフリー・フットがスケーティング・フットを追い越すことがないようにしなければならない。このダンスでは、しっかりと寄り添ったワルツ・ホールドを保ちつつ、パートナー同士がシンクロする形で、かつ、音楽にも合った形でフリー・レッグをスウィングし、カウント4でスウィング・スリーを行う。なお、このようなやり方のターンは、「アメリカン・ワルツ型スリー・ターン」と呼ばれている。

足を踏み換える際は、スケーティング・レッグの膝を曲げる。この動きは最強拍(カウント1)と同時に、強拍を強調する効果がある。このように膝を動かすとダンスが軽快な雰囲気になるが、しっかりコントロールしてじんわり動かせないと、ひよこひよこしたダンスになってしまうし、流れもバランスも崩れてしまうので注意しなければならない。また、次のロープに入る足の踏み替えでは、上体を起こして体重移動をうまくコントロールしなければならない。

ワルツ音楽を表現するには、最強拍と強拍をつなぐ部分が一樣に流れることが大事である。最強拍であるカウント1では、足を踏み替えるとともにスケーティング・レッグの膝を曲げる。新しいロープに入り、回転の向きと傾きの変化による強調を伴うこともある。強拍(カウント4)ではターンを行うが、それ以外の強調は特にない。

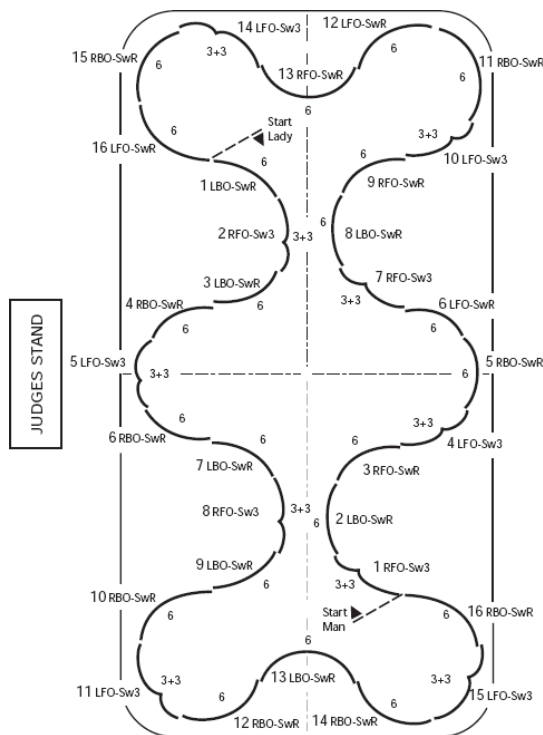
考案者	- 不詳
初演	- 不詳

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

アメリカン・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-5)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数		女性のステップ
クローズド	1	RFOSw3	3+3	6	LBO-SwR
	2	LBO-Sw R	6	3+3	RFOSw3
	3	RFO-SwR		6	LBO-SwR
	4	LFOSw3	3+3	6	RBO-SwR
	5	RBO-SwR	6	3+3	LFO Sw3
	6	LFO-SwR		6	RBO-SwR
	7	RFOSw3	3+3	6	LBO-SwR
	8	LBO-SwR	6	3+3	RFOSw3
	9	RFO-SwR		6	LBO-SwR
	10	LFOSw3	3+3	6	RBO-SwR
	11	RBO-SwR	6	3+3	LFOSw3
	12	LFO-SwR		6	RBO-SwR
	13	RFO-SwR		6	LBO-SwR
	14	LFOSw3	3+3	6	RBO-SwR
	15	RBO-SwR	6	3+3	LFOSw3
	16	LFO-SwR		6	RBO-SwR



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

スターライト・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-9)

音楽 - ワルツ, 3/4拍子
テンポ - 3拍子58小節/分
- 174拍/分

パターン - セット

時間 - 2シーケンスの滑走に必要な時間は1分10秒。

このダンスは、特性もリズムも、ヴィニーズ・ワルツによく似ている。

最初、クローズド・ホールドで2人一緒にシャッセを3回行うシーケンスである。各シャッセ・シーケンス最後となる3番目のステップは、最後までしっかりアウトサイド・エッジに乗っていなければならない。3つめのシャッセの次、ステップ9は、2人とも6ビートのチェンジ・エッジである。その後半3ビートにおけるフリー・レッグの動きは、スケーターごとに好みの解釈としていい。ステップ10は2人で6ビートのスウィング・ロールである。ステップ11から15は、クローズド・ホールドのまま、男性はスリー・ターンを3回、女性は2回、行う。このシーケンスでは、クローズド・ホールドを保つかぎり、好きなように動き、表現することが許される。なお、ぎくしゃくしたスリー・ターンにならないよう、注意すべきである。男性は、ステップ15で3つめのスリー・ターンを終えたあと、バックのプログレッシブ(ステップ16aと16b)に入り、その間に、女性は、アウトサイド・クローズド・モホークの準備を整える。続く6ビートのステップ17では、そのカウント4でフリー・レッグを持ち上げてアクセントをつける。

ステップ18はオープン・ホールドで滑る。ステップ19では、男性が3ビートの長いエッジを滑っている間に女性がオープン・モホークをする。これでホールドがクローズドに戻り、ステップ20のスウィング・ロールを行う。さらに、女性が体を開いてオープン・ホールドとなり、男性が

シャッセをしている間に女性がオープン・モホークをする。これでクローズド・ホールドに戻り、ステップ23のスウィング・ロールを行う。ステップ24から25では、この「シャッセ／モホーク」シーケンスを逆向きにくり返す。この3回のモホークは、フリー・フットのかかとをスケATING・フットの内側に下ろす形で、かかとに下ろす形でよい。

ステップ26で、男性は左手を離して腰の後ろに回す。その左手を、女性が右手で握る。さらに、男性は右手も離し、ステップ28において女性の後ろでスリー・ターンができるようにする。ステップ26から28で、男性は右腕を前に伸ばしてもいいし、体の脇につけておいてもいい。

男性はステップ27、28、31をクロス・ロールで始め、女性は、ステップ27と31をクロス・ロールで始める。女性のステップ29bはクロス・ビハインド・シャッセであり、次の足を前方ではなくすぐ横に置くよう注意しなければならない。ステップ29の終わりからステップ32まではキリアン・ホールドとなる。ステップ32で、男性がスライド・シャッセ、女性が音楽に合わせてフリー・レッグを後方に上げるスウィング・スリー・ターンを行い、クローズド・ホールドとなってダンスの最初に戻る。

考案者 - コートニー・J・L・ジョーンズ, ペソ・V・ホーン
初演 - 1963年, ロンドン, クイーンズ・アイスリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

スターライト・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-9) アドバンスト・ノービス (2020～2021シーズン)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
クローズド	1	LFO		2		RBO
	2	RFI-Ch		1		LBI-Ch
	3	LFO		3		RBO
	4	RFO		2		LBO
	5	LFI-Ch		1		RBI-Ch
	6	RFO		3		LBO
	7	LFO		2		RBO
	8	RFI-Ch		1		LBI-Ch
	9	LFOI		3+3		RBOI
	10	RFO-SwR		6		LBO-SwR
	11	LFO3	2+1		3	RBO
	12	RBO	3		2+1	LFO3
	13	LFO3	2+1		3	RBO
	14	RBO	3		2+1	LFO3
	15	LFO3	2+1		3	RBO
	16a	RBO	2		3	LFO
	16b	LBI-Pr	1			CIMo
オープン	17	RBO		6		RBO
	18	LFI		3		LFI
	19a	RFI	3		2	RFI
クローズド	19b				1	LBI
	20	LFO-SwR		6		RBO-SwR
	21	RFO		2		LFI
						OpMo
	22	LFI-Ch		1		RBI
	23	RFO-SwR		6		LBO-SwR
	24	LFO		2		RFI
	25	RFI-Ch		1		LBI

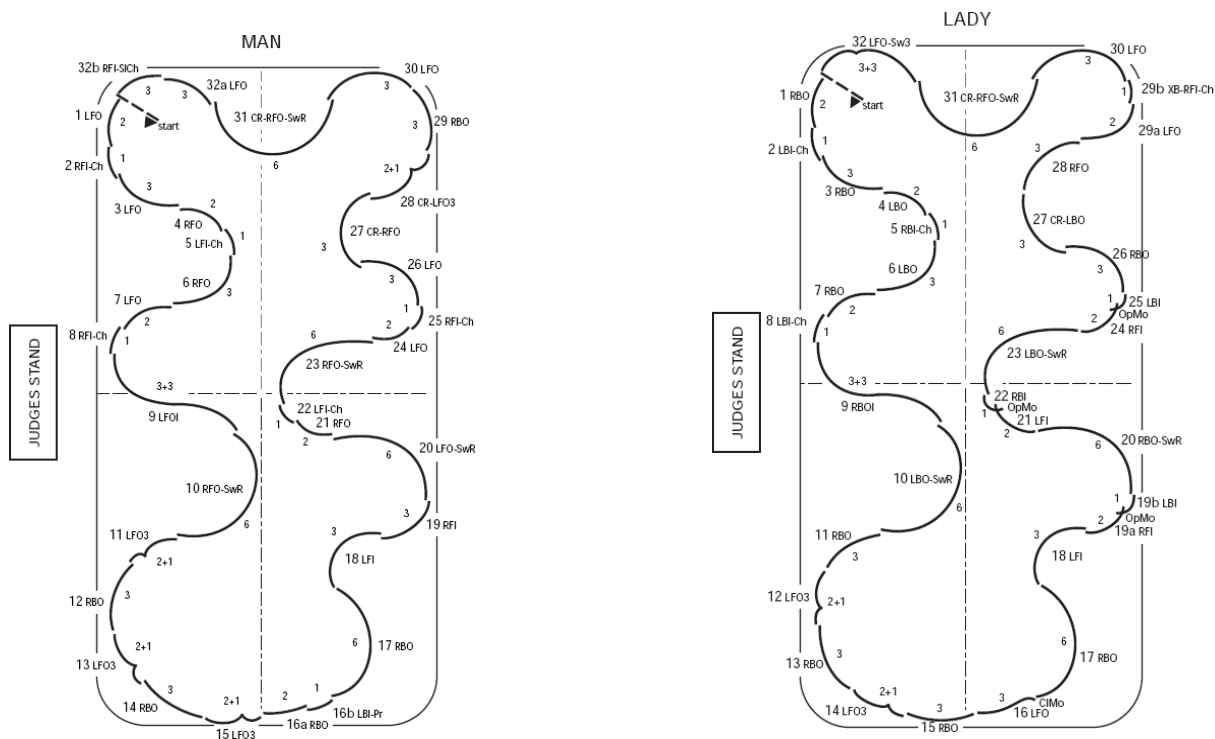
ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
変更 (本文 参照)	26	LFO		3		RBO
	27	CR-RFO		3		CR-LBO
	28	CR-LFO3	2+1		3	RFO
	29a	RBO	3		2	LFO
	29b				1	Xb-RFI-Ch
キリアン	30	LFO		3		LFO
	31	CR-RFO-SwR		6		CR-RFO-SwR
	32a	LFO	3		3+3	LFOsw3
クローズド	32b	RFI-SICh	3			

各セクションのステップ17 (SW1Sq1Se & SW2Sq1Se)	キー・ポイント1 男性のステップ9～10 (LFOI, RFO-SwR)	キー・ポイント2 女性のステップ16～17 (LFO CIMo, RBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なチェンジ・エッジ (#9)	1. 正確なエッジ 2. CIMo - 正確なターン 3. CIMo - フリー・レッグの正確な配置
各セクションのステップ18 ～32 (SW1Sq2Se & SW2Sq2Se)	キー・ポイント1 女性のステップ21～22 (LFI, OpMo, RBI)	キー・ポイント2 男性のステップ27～28 (CR-RFO, CR- LFO3)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリー・レッグの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

スターライト・ワルツ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-9) アドバンスト・ノービス (2020~2021シーズン)



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

キリアン (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-12)

音楽	- マーチ, 2/4または4/4拍子
テンポ	- 2拍子58小節/分 - 4拍子29小節/分 - 116拍/分
パターン	- オプショナル
時間	- 6シーケンスの滑走に必要な時間は50秒.

キリアンでは、正確なフットワーク、回転の調和、コントロールが問われる。姿勢は、上体を起こした状態に保つこと。パターンは長円形を反時計方向に回るが、スタート部分は円のどの部分であってもかまわない。ただし、いったん決めたら、その後のシーケンスで位置をずらすことは許されない。時計方向の回転はしっかりコントロールすること。

体をぴったり寄せ合ったキリアン・ホールドでダンス全体を滑る。特に、体がついたり離れたりしないように注意すること。男性の右手は女性の右手と重ねた状態で女性の右腰をしっかりと押さえ、2人が離れるのを防ぐ。また、女性は左腕を男性の前を横切る格好でしっかり伸ばし、男性は、その手を左手で握る。これは16ビートで14ステップを踏むダンスである。2ビートのステップはステップ3と4だけで、残りはすべて1ビートのステップである。ステップ1から3はプログレッシブ・シーケンスであり、ステップ4の準備をしようとステップ3の途中で体重を移動してしまわないよう注意しなければならない。ステップ3も4もアウトサイド・エッジにしっかりと乗らなければならない、チェンジやフラットが入ってはならない。このエッジに乗っている間、体が正しい向きに傾いていないと、このダンスをこのダンスらしく滑ることはできない。

ステップ5から7もプログレッシブ・シーケンスで、このときも、ローブのカーブに合った体の傾きとなっていなければならない。ステップ8に入るところで体重を円の外側に移し、肩を強くチェックすることにより、円の外側に傾いたままステップ9の終わりまで滑る。なお、ステップ8はクロス・ロール、ステップ9はタイトなクロス・ビハインドである。どちらのステップも、膝をしっかりと曲げる必要がある。

ステップ9から10は、クロス・イン・フロントのオープン・チョクトウである。両膝をしっかりと開いてオープンなポジションを一時的に取り、フリー・フットの右足をスケーティング・フットの少し前で氷に下ろす。ステップ10に入った瞬間、肩と腰をしっかりとチェックして、回転を押さえること。このとき氷を離れた左足は、次のステップ11で、クロス・ビハインドによるLBIエッジとなる。

ステップ12は両足がすれ違う動き、ステップ13はクロス・イン・フロントである。ステップ12から13にかけて、2人とも肩が時計方向に正しく回っていれば、寄り添ったままステップを踏むことができる。ステップ14では、スケーティング・フットのかかとから踏み込むべきで、ワイドステップや前方へのまたぎ越しは避けること。また、このエッジに長く乗りすぎないように注意しなければならない。ステップ14では、上体を起こして膝をしっかりと曲げる必要がある。

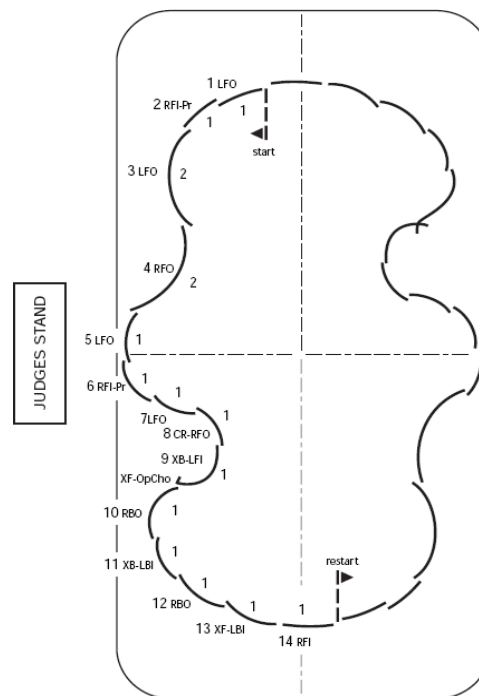
考案者	- カール・シュライター
初演	- 1909年, ウィーン, エンゲルマン・アイスリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

キリアン (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-12)

ホールド	番号	ステップ (男女同一)	音楽の拍数
キリアン	1	LFO	1
	2	RFI-Pr	1
	3	LFO	2
	4	RFO	2
	5	LFO	1
	6	RFI-Pr	1
	7	LFO	1
	8	CR-RFO	1
	9	XB-LFI	1
		XF-OpCho	
	10	RBO	1
	11	XB-LBI	1
	12	RBO	1
	13	XF-LBI	1
	14	RFI	1



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-21) インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

音楽	- タンゴ, 4/4拍子
テンポ	- 4拍子27小節／分 - 108拍／分
パターン	- オプショナル
時間	- 2シーケンスの滑走に必要な時間は58秒.

このダンスでは、特に、上体をまっすぐに立てて滑ることが大事である。また、パートナー同士、すぐ近くに寄り添って滑るべきであり、きちんとしたフットワークと流れが不可欠である。がんばって氷を押しているように見えない形でスピードを保つ必要がある。このダンスは、深いカーブでゆったりと滑るロールの間に浅いカーブのすばやいクロスト・ステップがちりばめられており、その最後に、オープン・ポジションで滑るブロムナードがある。

助走の最後では、女性が右側のアウトサイド・ホールドとなっていなければならない。男性は、すばやいクロス・ステップ2歩(ステップ1と2)を行う。最初はクロス・イン・フロント、2歩めはクロス・ビハインドである(クロス・シャッセのシーケンス)。女性もほぼ同じシーケンスだが、最初がクロス・ビハインド、2歩めがクロス・イン・フロントとなる。このすばやいステップに続くのが、クローズド・ホールドで滑る4ビートのロール(ステップ3*)である。このロールの途中あるいは最後に、ホールドを女性が左側のアウトサイド・ポジションに変える。次のロープは、滑る足が左右反対である以外は同じシーケンスである。

3番目のロープで、男性は、クロス・イン・フロントで始める右足の浅いアウトサイド・ロッカーで最初のステップ7を滑り、続けて、クロス・ビハインド、クロス・イン・フロントとすばやいクロス・ステップ(ステップ8と9)を踏む。女性は、クロス・ビハインドでステップ7を踏んだあと、フォアのステップ2歩に入る。なお、この2歩めはクロス・ビハインドである。ステップ10は、また、クローズド・ホールドの瞬間があるロールである。このロールの途中あるいは最後、ホールドは、女性が左側のアウトサイド・ポジションに戻る。次のロープも、クロス・ステップ2歩とロールによるシーケンスである。

* ステップ3, 6, 10, 13は、4拍全部がクローズド・ホールドである必要はなく、ロール中にアウトサイドからアウトサイドへ左右を入れ替える形として、クローズド・ホールドが4拍より短くなったり、それこそ、ごく短い時間に限られてもかまわない。どちらのやり方／インタープリテーションも許容される。

ステップ14で、女性はクロス・ロールからスリー・ターンを行う。男性はクロス・ロールからフォアに踏み出す。その後は、クローズド・ホールドで、男性がRFOのスウィング・ロール(ステップ15)、女性がLBOのスウィング・ロールである。次のブロムナードはオープン・ホールドとなり、2人でクイック、クイック、スロー、スローとステップを踏む。そこに続くのが、男性はインサイドから女性はアウトサイドからのクローズド・スウィング・モホーク(ステップ20と21)で、モホーク前後のエッジはいずれも4ビートと長く乗る。ステップ22で女性はフォアに踏み出し、インサイドに1ビート乗ったところでスリー・ターンを行い、ターン後はそのまま5ビート保つ。男性はシャッセ・シーケンスに続けて4ビートのロールを滑る(ステップ22のa, b, c)。ステップ22はオープン・ホールドで入り、女性がスリー・ターンしたあとはクローズド・ホールドとなるが、ステップ22の最後は、ダンスの最初に戻るようにアウトサイド・ポジションに移行していなければならない。

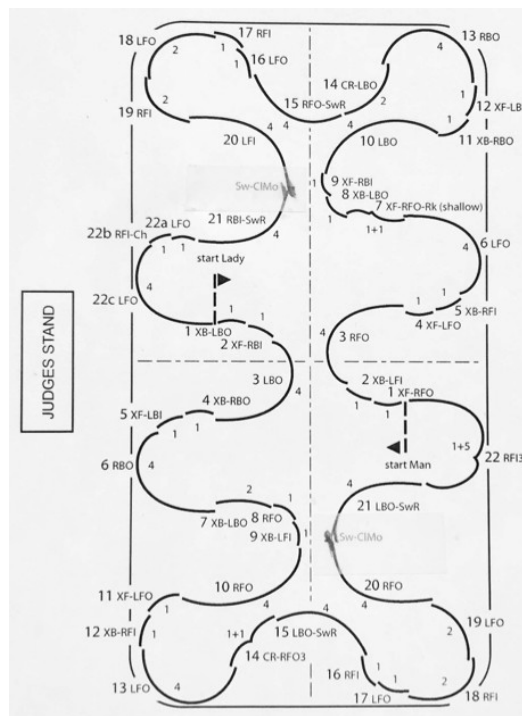
考案者	- ポール・クレコウ, トウルーディ・ハリス
初演	- 1932年, ロンドン, ハーマスミス・アイスリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-21) – インターミディエイト・ノービス (2020~2021シーズン)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数	女性のステップ
アウトサイド	1	XF-RFO	1	XB-LBO
	2	XB-LFI	1	XF-RBI
クローズドからアウトサイド	3	RFO	4	LBO
	4	XF-LFO	1	XB-RBO
	5	XB-RFI	1	XF-LBI
クローズドからアウトサイド	6	LFO	4	RBO
	7	XF-RFO-Rk (shallow)	1+1	2 XB-LBO
	8	XB-LBO	1	RFO
	9	XF-RBI	1	XB-LFI
クローズドからアウトサイド	10	LBO	4	RFO
	11	XB-RBO	1	XF-LFO
	12	XF-LBI	1	XB-RFI
クローズドからアウトサイド	13	RBO	4	LFO
	14	CR-LBO	2	1+1 CR-RFO3
クローズドオープン	15	RFO- SwR	4	LBO – SwR
	16	LFO	1	RFI
	17	RFI	1	LFO
	18	LFO	2	RFI
	19	RFI	2	LFO
	20	LFI	4	RFO
		Sw-CIMo		RFO
	21	RBI-SwR	4	LBO-SwR
	22a	LFO	1	1+5 RFI3
シーケンスごと (TA1Sq & TA2Sq)		キー・ポイント 女性のステップ20~21 (RFO Sw-CIMo, LBO-SwR) & 男性のステップ20~21 (LFI Sw-CIMo, RBI-SwR)		
キー・ポイントの特徴		1. 正確なエッジ 2. Sw-CIMo (#20): 正確なターン 3. Sw-CIMo (#20): フリー・フットの正確な配置		



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

アルゼンチン・タンゴ (出典: ISU アイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-22)

音楽	- タンゴ, 4/4拍子
テンポ	- 4拍子24小節/分
	- 96拍/分
パターン	- セット
時間	- 2シーケンスの滑走に必要な時間は1分10秒.

アルゼンチン・タンゴは、力強いエッジで勢よく滑るダンスである。スピードと流れが大切なのだが、かといって、がんばって氷を押しているように見えてはならない。

ダンスの最初, ステップ1から10は、オープン・ホールドである。ステップ1から6のプログレッシブ, シャッセ, プログレッシブというシーケンスから, ステップ7で, 2人とも, リンク長辺に向かい, ぐいっとLFOエッジに乗る。ステップ8は, カウント1のクロス・イン・フロントで右のフォワード・アウトサイドに乗り, そのまま1ビート保持する。続くステップ9では, カウント2でクロス・ビハインドしたあと, フリー・レッグをスケーティング・レッグ前方に滑らせつつカウント3でチェンジ・エッジしてカウント4まで保持し, カウント1で次のステップ, クロス・ビハインドに入る。ステップ10では, 女性がもう一度クロス・ビハインドからチェンジ・エッジしているあいだに, 男性がカウンター・ターンを行う。カウンター・ターンと同時に, 女性が男性の後方に入る形でホールドがクローズドに転じる。

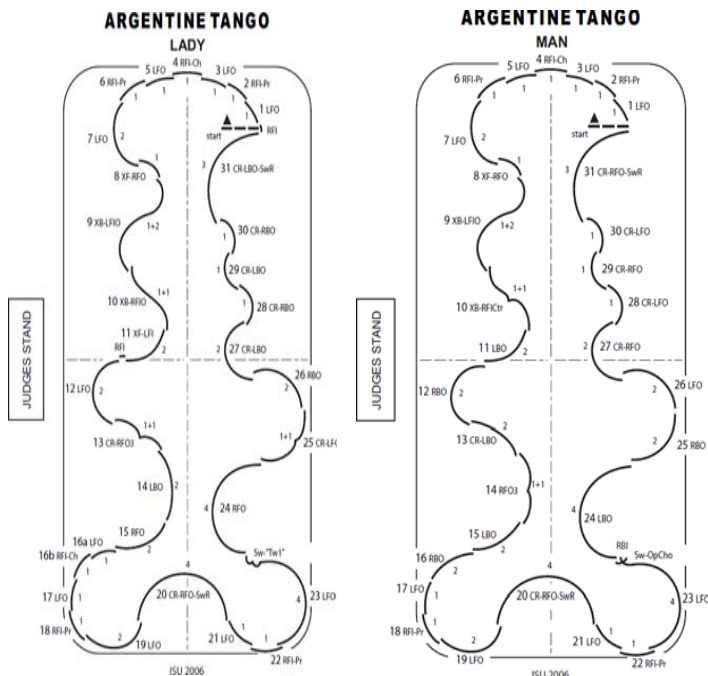
ステップ11は, リンクフェンスに向けてきついカーブを描く。このステップの最後, 女性は, カウント4からカウント1に移る際の「アンド」でごく短いRFIIに踏み換えてから, 初めてリンクフェンスに向けて踏み出すステップ12を滑る。ステップ13から15で描くロープは, 中央線に向かうクロス・ロールで始める。女性が男性に向かってクロス・ロール・スリー(ステップ13)をしたあと, 男性がステップ14でスリー・ターンを行う。この部分を力強いエッジで滑ったあとは, ステップ15のアウトサイド・エッジでリンクフェンスに向かう。

男性が2ビートのエッジ(ステップ16)に乗っているあいだに女性がシャッセ(ステップ16aとb)を行い, 続いて男性がフォアに踏み出すことでキリアン・ホールドに転じる。ステップ17から19はプログレッシブ・シーケンスで, それに続くのが, リンクの端を横切る形のスウィング・クロス・ロール(ステップ20)である。このあとは, またプログレッシブ・シーケンスを挟んで, ステップ23にいたる。このステップは, 2人とも左足のフォワード・アウトサイド・エッジで, 最後, カウント4と次の小節のカウント1との間で, 女性は時計回りの「ツイズル・ライク・モーション」(“Tw1”)とは, 体がぐるりと完全に1回転するものだが, スケーティング・フットは完全には1回転せず, 右足でフォアに踏み出す形で終わる。男性はスウィング・オープン・チョクトウをする。ツイズル中, 女性は体重を左足で支え, そのすぐ脇に右足を寄せておく。また, ステップ21から23で, 女性は, ヒップ・トゥ・ヒップ・ポジションで男性のトレースを追うように滑ること。この動きが終わると, ホールドはクローズドとなる。次のロープに入るステップ25は, 女性はクロス・ロール, 男性は普通の踏み替えである。男性に向かうスリー・ターンを女性がしたら(女性のステップ25), 男性がフォアに踏み出し(男性のステップ26), 女性が右にずれたアウトサイド・ホールドとなる。ステップ27から31では, クロス・ロールを5回連続で, リンク長辺に沿って行う。最初のクロス・ロールは2ビート, 次の3回は1ビートずつである。このクロス・ロールは, しっかりとエッジに乗って軽やかに行うこと。最後のクロス・ロールは3ビートのアウトサイド・スウィング・ロールで, その最後, カウント4とカウント1の間で, 女性は, 瞬間的にRFIIに踏み替え, ダンスのスタートに戻る準備を完了する。

考案者	- レジナルド・J・ウィルキー, ダフネ・B・ウォリス
初演	- 1934年, ロンドン, ウェストミンスター・アイスリンク

件名: パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム

アルゼンチン・タンゴ (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-22)



カテゴリー: アイス・ダンス

件名: パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム

アルゼンチン・タンゴ (出典: ISU アイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-22)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
オープン	1	LFO		1		LFO
	2	RFI-Pr		1		RFI-Pr
	3	LFO		1		LFO
	4	RFI-Ch		1		RFI-Ch
	5	LFO		1		LFO
	6	RFI-Pr		1		RFI-Pr
	7	LFO		2		LFO
	8	XF-RFO		1		XF-RFO
	9	XB-LFIO		1+2		XB-LFIO
クローズド	10	XB-RFI Ctr	1+1		1+1	XB-RFIO
	11	LBO	2		2 "and"	XF-LFI RFI (between counts 4&1)
	12	RBO		2		LFO
	13	CR-LBO	2		1+1	CR-RFO3
	14	RFO3	1+1		2	LBO
	15	LBO		2		RFO
	16a	RBO	2		1	LFO
	16b				1	RFI-Ch
キリアン	17	LFO		1		LFO
	18	RFI-Pr		1		RFI-Pr
	19	LFO		2		LFO
	20	CR-RFO-SwR		4		CR-RFO-SwR
	21	LFO		1		LFO
	22	RFI-Pr		1		RFI-Pr
	23	LFO Sw-Op Cho RBI (between counts 4&1)		4 "and"		LFO Sw-"Tw1 (between counts 4&1)
クローズド	24	LBO		4		RFO
	25	RBO	2		1+1	CR-LFO3
	26	LFO		2		RBO
アウトサイド	27	CR-RFO		2		CR-LBO
	28	CR-LFO		1		CR-RBO
	29	CR-RFO		1		CR-LBO
	30	CR-LFO		1		CR-RBO
	31	CR-RFO-SwR	3		3 "and"	CR-LBO- SwR RFI (between counts 4 & 1)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ブルース (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-24)

音楽 - ブルース, 4/4拍子
テンポ - 4拍子22小節／分
- 88拍／分
パターン - オブショナル
時間 - 3シーケンスの滑走に必要な時間は1分14秒.

ブルースをブルースらしく滑るには、膝を深く曲げ、力強いエッジに乗って滑る必要がある。ダンスの始まりは、男性がフォア、女性がバックのクロス・ロールで、ホールドはパーシャル・アウトサイドで始まり、クローズドへと移行していく。ステップ2は、女性がクロス・イン・フロント、男性はプログレッシブである。

男性のクロス・ロール・スリー・ターン(ステップ4)はフェンスに向けて踏み出すこと。男性がこのターンをしている間に、女性は、クロス・ロールとクロス・ステップを行う(最初は後ろ、2つめは前でクロスする)。ホールドは、アウトサイドで入り、オープンへと変化する。ステップ5では、2人そろって、4ビートの力強いバックワード・アウトサイドエッジを滑る。このときフリー・レッグは前に伸ばしたままとし、ステップ6でフォアに踏み出す直前、スケーティング・フットに寄せること。なお、このステップが小節の3拍目から始まる点に注意を払うべきである。ステップ7はディープ・エッジのクロス・ロールで、フリー・レッグは前方にスウィングしたあと、スケーティング・フットの横まで引き戻し、次のステップに踏み出す準備を整える。ステップ8から11はプログレッシブ2セットのシーケンスだが、最初と最後が2ビート、間の2つは1ビートとタイミングが独特である(このセクションは、“プロムナード”と呼ばれている)。なお、ステップ8では、膝の動きと伸ばしたフリー・レッグでアクセントをつける。

ステップ12から13はクローズド・チョクトウで、チョクトウ前後のカーブは同じ深さとする。フリー・レッグは後ろに伸ばしておき、ターンの直前に、スケーティング・フットのかかとへ寄せること。重心の真下に新たなスケーティング・フットを下ろせば、きれいなチョクトウになる。ステップ14は、2人そろってのバックワード・クロス・ロールである。ステップ15はレトログレッションになってもかまわない。ステップ15から17で描かれるロープで、女性は3ステップ、男性4ステップを踏む。女性のスリー・ターンに合わせて男性がシャッセを行い、クローズド・ホールドでダンス最後のステップに入る。このパターンも、レトログレッションになってもかまわない。

考案者 - ロバート・デンチ, レズリー・ターナー
初演 - 1934年, ロンドン, ストリーサム・アイスリンク

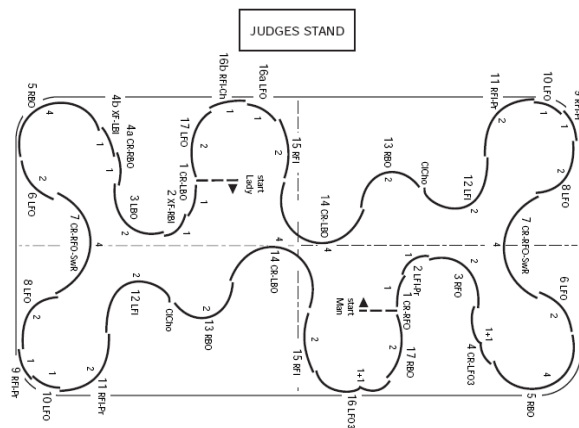
カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ブルース (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-24)

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数		女性のステップ
パーシャル・アウトサイド	1	CR-RFO		1	CR-LBO
クローズド	2	LFI-Pr		1	XF-RBI
	3	RFO		2	LBO
アウトサイド	4a	CR-LFO3	1+1		1 CR-RBO
オープン	4b			1	XF-LBI
	5	RBO		4	RBO
	6	LFO		2	LFO
	7	CR-RFO-SwR		4	CR-RFO-SwR
	8	LFO		2	LFO
	9	RFI-Pr		1	RFI-Pr
	10	LFO		1	LFO
	11	RFI-Pr		2	RFI-Pr
	12	LFI ClCho		2	LFI ClCho
	13	RBO		2	RBO
	14	CR-LBO		4	CR-LBO
	15	RFI		2	RFI
	16a	LFO	1		1+1 LFO3
クローズド	16b	RFI-Ch	1		
	17	LFO		2	RBO

キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. ClCho (# 12): 正確なターン 3. ClCho (# 12): フリー・フットの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. ClCho (# 12): 正確なターン 3. ClCho (# 12): フリー・フットの正確な配置
------------	--	--



シーケンスごと (BL1Sq, & BL2Sq BL3Sq)	キー・ポイント1 女性のステップ12~13 (LFI- ClCho, RBO)	キー・ポイント2 男性のステップ12~13 (LFI-ClCho, RBO)
--------------------------------------	---	--

File name: 2020-21 Handbook for Officials - Pattern Dances 2020-21
Version: 2020
Date: 01.07.2020

カテゴリー: アイス・ダンス

件名: パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム

スウィング・ダンス

音楽 - フォックストロット, 4/4拍子
テンポ - 4拍子25小節/分, 100拍/分(98~104拍/分であればよい)
パターン - セット

助走例:

ダンスそのものは、ダイアグラムの“START”と記されたところ(ジャッジ席に近いほう)からスタートする。助走の例として、モホークを行う(A)とスリー・ターンを行う(B)の2つを紹介する。

(A) 男性: RFO (2), LFI (2), RFO (4)

女性: LFI (2), OpMo RBI (2), LBO (4)

(B) 男性: RFO (2), LFO (2), RFO (1), LFI (1), RFO (2)

女性: RFO (2), LFO (2), RFO (3), LBO (2)

どちらの例も、女性が男性の左側に立ったハンド・イン・ハンド・ホールドで滑り始める。

このダンスは初心者向けで、フォワードとバックワードの基本的なエッジがすべて登場する。フォアからバックへ易しく方向転換する方法も登場する。男性は、フォアはもちろん、バックに滑りつつのリードも学ぶことになる。また、同じステップを並んで滑るわけではないが、2人のステップは基本的に同一となっており、女性2人の組み合わせでも、ダンスを学んだり、カップルとして練習したりできるようになっている。このダンスは、ロープとも呼ばれるカーブ4つでリンク長辺を滑っていく。ホールドはクローズドである。最初の長辺のロープをフォアで滑ったスケーターは、リンク反対側のロープ4つをバックで滑ることになる。

フォアにもバックにも、シャッセのシーケンスがある。シャッセ最初のステップは1ビートのアウトサイド・エッジである。続く2番目のステップは、同じく1ビートのインサイド・エッジである。フリー・フットは氷からわずかに浮かせた状態とするが、このとき、足が前後にずれないように注意しなければならない。フリー・フットは体の真下、3番目のステップで足を下ろしたら体重を支えられる位置に置いておくのである。3番目のステップは2ビートのアウトサイド・エッジである。第2ビートの終わりでは、エッジをわずかにインへと切り替え、次のロープの最初のエッジへとスムーズに切り替えられるようにする。

リンク長辺方向3番目と4番目のロープは、いずれも、4ビートのスウィング・ロールである。フォーティーン・ステップのスウィング・ロールと同じだが、それぞれ、定められた向きに滑ること。

リンク両端には、7ステップからなるエンド・シーケンスがある。基本的に1ステップ2ビートだが、最後のステップ(ステップ15と30)だけは4ビートのスウィング・ロールである。ここは膝を柔らかく動かし、リラックスして滑ること。楽しんでいると感じられる滑りであればなおよい。

ステップ9/24: 後ろ向きに滑っているほうは、左手を外してパートナーの正面からずれ、次のステップでフォアに踏み出せるようにする。

ステップ10/25: 2人ともフォアである。バックからフォアに踏み出したほうが左側にいる。相手に近い方の手同士を結び、近づきすぎないように注意すること。

ステップ11/26: ここも、まだ、2人ともフォアである。右側にいるほうが、左側より少し速く滑ること。

ステップ12/27: ここも、まだ、2人ともフォアである。このあたりまで来ると、右側のスケーターが左側より少し前、RFIのオープン・モホークができる位置まで来ているはずだ。左側のスケーターは、LFO, RFIのプログレッシブとしても、LFO, RFIのスライド・シャッセとしてもよい。スライド・シャッセというのは、フリー・フットになる足を前にスライドさせて氷から浮かせるもので、こうすると、パートナーが後ろに伸ばすフリー・レッグときれいにそろう動きにできる。右側、フォワードのインサイド・オープン・モホークは必須である。ここではバランスとコントロールが大事で、見ていて気持ちのいいエクセキューションでなければならない。

ステップ13/28: 右側は、RFIのモホークでパートナーの正面に回り込む。

ステップ14/29: モホークをした方のスケーターは、パートナーの正面でバックに滑る。

ステップ15/30: カーブの向きを変え、クローズド・ポジションのまま4ビートのスウィング・ロールを滑る。ポジションは、リンク長辺はクローズド・ホールドだが、エンド・シーケンスは、ステップ10, 11, 12も25, 26, 27もフォアに滑ることができるように、ハンド・イン・ハンドとする。パートナー同士、60cm以上離れ、リラックスさせた腕でホールドすること。エンド・シーケンスのステップ14/29まで、腕をどのように使うかは、スケーターの裁量に任されている。ただし、ステップ15/30までにクローズド・ポジションとなること。

考案者 ヒューバート・スプロット

初演 不詳

File name: 2020-21 Handbook for Officials - Pattern Dances 2020-21.docx

Version: 2020

Date: 01.07.2020

Page 59 of 80

D - パターン・ダンスの説明, ステップ表, ダイアグラム
(ノービス国際競技会)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

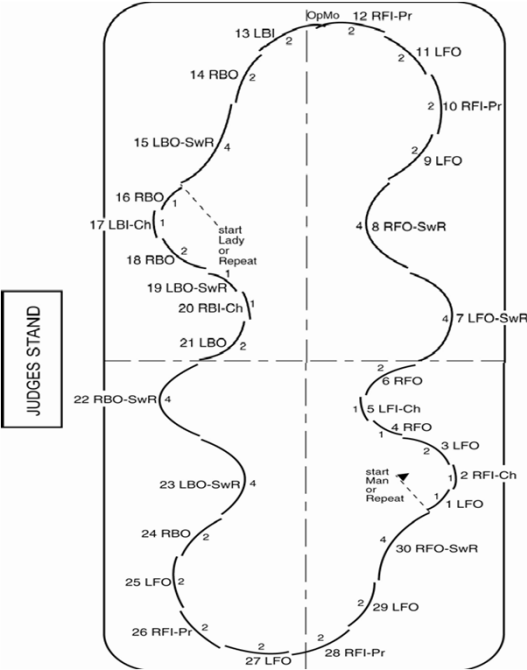
件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

スウィング・ダンス

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数	女性のステップ
クローズド	1	LFO	1	RBO
	2	RFI-Ch	1	LBI-Ch
	3	LFO	2	RBO
	4	RFO	1	LBO
	5	LFI-Ch	1	RBI-Ch
	6	RFO	2	LBO
	7	LFO- SwR	4	RBO- SwR
	8	RFO- SwR	4	LBO- SwR
ハンド・イン・ハンド	9	LFO	2	RBO
	10	RFI-Pr	2	LFO
	11	LFO	2	RFI-Pr
クローズド	12	RFI-Pr OpMo	2	LFO
	13	LBI	2	RFI-Pr
	14	RBO	2	LFO
	15	LBO- SwR	4	RFO- SwR
	16	RBO	1	LFO
	17	LBI-Ch	1	RFI-Ch
	18	RBO	2	LFO
	19	LBO	1	RFO
	20	RBI-Ch	1	LFI-Ch
	21	LBO	2	RFO
	22	RBO- SwR	4	LFO- SwR
	23	LBO- SwR	4	RFO- SwR
ハンド・イン・ハンド	24	RBO	2	LFO
	25	LFO	2	RFI-Pr
	26	RFI-Pr	2	LFO
クローズド	27	LFO	2	RFI-Pr OpMo
	28	RFI-Pr	2	LBI
	29	LFO	2	RBO
	30	RFO- SwR	4	LBO- SwR

カテゴリー: **アイス・ダンス**
件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

スウィング・ダンス



スウィング・ダンス
音楽: フォックストロット, 4/4拍子
テンポ: 4拍子25小節/分, 100拍/分 (98~104拍/分であればよい)

2シーケンス/2GOE	シーケンス/セクション	ステップ	ステップ数	10%	25%	50%	75%	90%
SD1Sq, SD2Sq	1シーケンス	1-30	30	3	7	15	23	27

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ウィロー・ワルツ - ベーシック・ノービス (2020~2021シーズン)

音楽 - ワルツ, 3/4拍子
テンポ - 3拍子45小節/分, 135拍/分
パターン - セット

ダンスは、ダイアグラムの“START”と記されたところ(ジャッジ席に近いほう)からスタートする。

男性: RFO (3), LFO (2), RFI シャッセ, ステップ20から22

女性: RFO (3), LFO (3), ステップ20から22

このダンスでは、上体をまっすぐに立て、ワルツのリズムに乗って滑ることが大事である。また、パートナー同士が寄り添い、きちんとしたフットワークで滑るように注意しなければならない。流れとスピードも重要で、がんばって氷を押していると見えないようにすべきでもある。

ウィロー・ワルツは、最初から最後まで、クローズド・ホールドで滑る。ステップ1と2は、2人ともシャッセである。

ステップ5と6の男性は、3ビートのRFIから3ビートのLBIへのインサイド・オープン・モホークである。女性のステップ6(および男性ステップ19)は、スライド・シャッセとしてもよい。その場合、パートナーのフリー・レッグに合わせ、フリー・フットになる足を前にスライドさせて氷から浮かせる。

女性は、ステップ8の第3拍でスリー・ターンを行う。ステップ9, 10, 11は2人ともプログレッシブ・シーケンスで、そこに続くステップ12と13はシャッセ・シーケンスである。男性はステップ14の第3拍でスリー・ターンを行う。クロス・ロールから入るヨーロピアン・ワルツ型スリー・ターンではないことに注意されたい。

ステップ18と19で、女性は、インサイド・オープン・モホークをする。モホーク前後は、3ビートずつ乗ること。男性のステップ19は、スライド・シャッセとしてもよい。

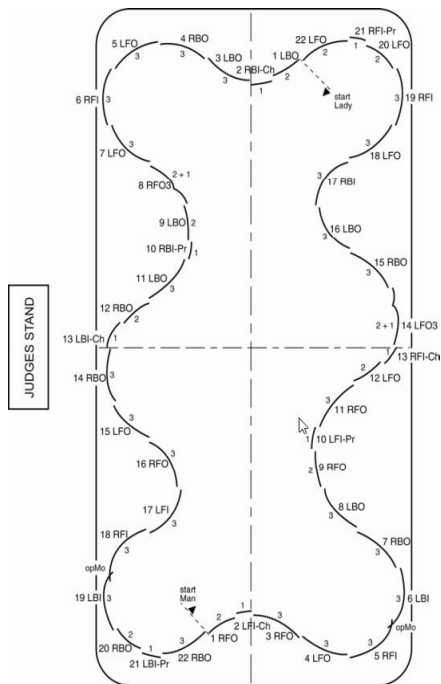
ステップ20, 21, 22は2人ともプログレッシブ・シーケンスである。

考案者 ジョージ・ミュラー
初演 1953年, ウイロースプリングス(シカゴ), クリスタル・アイスパレス

件名: パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム

ウィロー・ワルツ

テンポ:3拍子45小節/分, 135±3拍/分



ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
クローズド	1	RFO		2		LBO
	2	LFI-Ch		1		RBI-Ch
	3	RFO		3		LBO
	4	LFO		3		RBO
	5	RFI OpMo		3		LFO
	6	LBI		3		RFI
	7	RBO		3		LFO
	8	LBO	3		2+1	RFO3
	9	RFO		2		LBO
	10	LFI-Pr		1		RBI-Pr
	11	RFO		3		LBO
	12	LFO		2		RBO
	13	RFI-Ch		1		LBI-Ch
	14	LFO3	2+1		3	RBO
	15	RBO		3		LFO
	16	LBO		3		RFO
	17	RBI		3		LFI
	18	LFO		3		RFI OpMo
	19	RFI		3		LBI
	20	LFO		2		RBO
	21	RFI-Pr		1		LBI-Pr
	22	LFO		3		RBO

2シーケンス／2GOE	シーケンス／ セクション	ステップ	ステップ数	10%	25%	50%	75%	90%
WiW1Sq, WiW2Sq	1シーケンス	1-22	22	2	6	11	17	20

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・フィエスタ

音楽 -タンゴ, 4/4拍子

テンポ -4拍子27小節／分, 108拍／分

パターン -セツト

助走例: 男女ともRFO (2), LFO (2), RFI (4). 女性は男性の左側に立つ.

このダンスはリバース・キリアン・ホールドで始める. ステップ10から11で, 2人ともオープン・モホークを行うと, キリアン・ホールドになる. ステップ11から15はキリアン・ホールドで, ステップ16で2人がバックからフォアに踏み出すとリバース・キリアン・ホールドに戻り, ダンス・シーケンスをまた最初からくり返す.

ステップ9(LFO)を滑る際, 男性の少し前に女性が出て, 次のオープン・モホークで体がぶつからないようにする.

タンゴ・フィエスタでは, ゆったりとしたタンゴのリズムに乗ること, 体をまっすぐに立てて膝を柔らかく動かし, 流れるように滑ること, また, 足をスムーズにスウィングすることが求められる. ステップ8では, とても心地よい表現ができる. まず, 膝をしっかりと曲げて滑り始める. カウント3でフリー・レッグを前にスウィングし, 続けて, カウント4の終わりに, フリー・レッグをフルスウィングしながらエッジを切り替える. こうすると, 次の小節のカウント1でフリー・レッグは一番後ろに戻るようになる. このように, フリー・レッグをうまく使い, このダンスの特徴を際立たせることができるわけだが, どう使うにせよ, チェンジ・エッジのタイミングがダイアグラムに示されたとおりとなるように注意しなければならない.

このダンスは, 易しくもリズムカルな動きができるステップのシーケンスとなっているので, 音楽をしっかり解釈し, いかにタンゴらしいスタイルで滑ることが求められる.

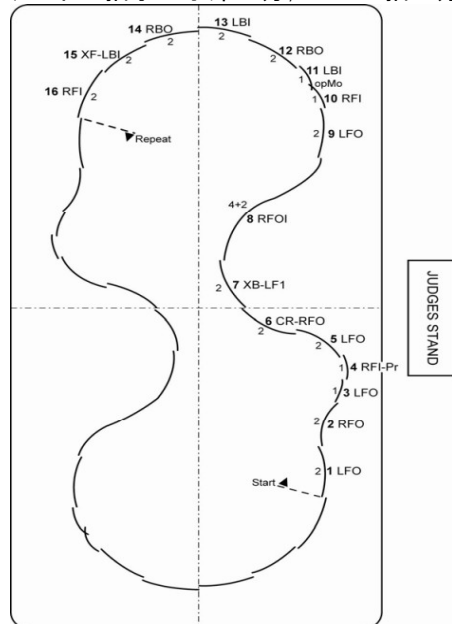
考案者 ジョージ・ミュラー

初演 1948年, コロラド・スプリングス

件名: パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム

音楽: タンゴ, 4/4拍子

テンポ:4拍子27小節／分, 108±2拍／分



ホールド	番号	ステップ(男女同一)	音楽の拍数
リバース・キリアン	1	LFO	2
	2	RFO	2
	3	LFO	1
	4	RFI-Pr	1
	5	LFO	2
	6	CR-RFO	2
	7	XB-LFI	2
	8	RFOI	4+2
	9	LFO	2
	10	RFI	1
		OpMo	
キリアン	11	LBI	1
	12	RBO	2
	13	LBI	2
	14	RBO	2
	15	XF-LBI	2
リバース・キリアン	16	RFI	2

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

クイックステップ (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-19) アドバンスト・ノービス (2020~2021シーズン)

音楽 - クイックステップ, 2/4拍子
テンポ - 2拍子56小節/分, 112拍/分
パターン - セット
時間 - 4シーケンスの滑走に必要な時間は1分0秒.

クイックステップは、最初から最後まで、男女同一のステップをキリアン・ホールドで滑る。男性の右腰と女性の左腰が触れあうヒップ・トゥ・ヒップを保てなければ、いい演技をすることはかなわない。テンポが速く明るい曲に合う演技が求められる。

正しいエッジで滑るためには、まず、リンク端の中央線付近から演技を始めることが大切である。シーケンス全体はリンクをいっぱい使う長さとなっており、各エッジの方向は、ダイアグラムに示されたとおりでなければならない。

ステップ1と2はシャッセ・シーケンス、ステップ3から5はプログレッシブ・シーケンスである。ステップ5はクローズド・スウィング・チョクトウの前半で、左のフォワード・アウトサイド・エッジに4ビートと長く乗る。チョクトウ後のエッジは3ビートで、フリー・フットは前に保ったあと、スケーティング・フットの横に引き戻し、さらに、外側後方へとスムーズにスウィングして、チェンジ・エッジに必要な膝の動きを助ける。なお、フリー・レッグの動きは、異なるものとしてもかまわない。チェンジ・エッジははっきりと行い、ローブの形がわかるようにしなければならない。このあとのステップはエネルギーに滑るべきもので、特に、ステップ7から9のエッジはできるかぎり深いことが求められる。なお、ステップ7はクロス・ビハインド、ステップ9はクロス・イン・フロントである。

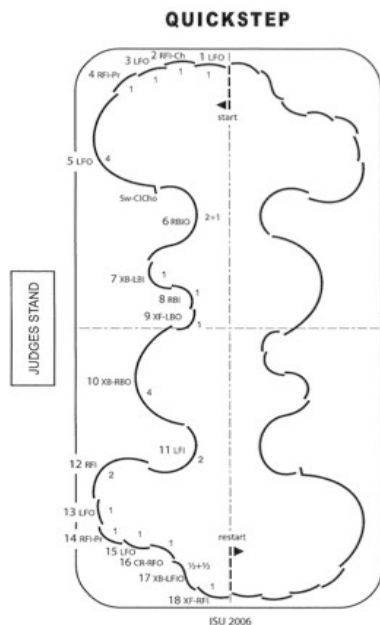
ステップ10は、リンク長辺のフェンスに向かい、クロス・ビハインドで始める4ビートの深いアウトサイド・エッジである。右足バックワードで滑るこのアウトサイド・エッジがしっかりコントロールされていれば、ステップ10からステップ11への踏み替えが楽にできる。ステップ13から18は軽やかに滑るところだが、パターンのカーブどおりとなるよう、きっちりと滑らなければならない。ステップ13から15はプログレッシブ・シーケンスで、ステップ16はクロス・ロール、ステップ17はクロス・ビハインドでスタートするインサイドからアウトサイドのチェンジ・エッジ、ステップ18はクロス・イン・フロントである。ステップ17では、ステップ18の準備を整えるため右足を前に伸ばした状態で、はっきりとチェンジ・エッジを行うこと。

考案者 - レジナルド・J・ウィルキー、ダフネ・B・ウォリス
初演 - 1938年、ロンドン、ウェストミンスター・アイスリンク

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

クイックステップ (出典: ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-19) アドバンスト・ノービス (2020～2021シーズン)



クイックステップ

クイックステップ

音楽: クイックステップ, 2/4拍子

テンポ: 2拍子56小節/分, 112±2拍/分

ホールド	番号	ステップ(男女同一)	音楽の拍数
キリアン	1	LFO	1
	2	RFI-Ch	1
	3	LFO	1
	4	RFI-Pr	1
	5	LFO	4
	6	RBIO	2+1
	7	XB-LBI	1
	8	RBI	1
	9	XF-LBO	1
	10	XB-RBO	4
	11	LFI	2
	12	RFI	2
	13	LFO	1
	14	RFI-Pr	1
	15	LFO	1
	16	CR-RFO	1
	17	XB-LFIO	½ + ½
	18	XF-RFI	1

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

クイックステップ (出典:ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003, § I-19) アドバンスト・ノービス (2020～2021シーズン)

シーケンスごと (QS1Sq, QS2Sq, QS3Sq & QS4Sq)	キー・ポイント1 女性のステップ5～6 (LFO Sw-CICho, RBIO)	キー・ポイント2 男性のステップ5～6 (LFO Sw-CICho, RBIO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. Sw-CICho: フリー・フットの正確な配置 4. Sw-CICho: フリー・レッグの正確なスウィング動作	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. Sw-CICho: フリー・フットの正確な配置 4. Sw-CICho: フリー・レッグの正確なスウィング動作

4シーケンス／4GOE	シーケンス／セク ション	ステップ	ステップ数	10%	25%	50%	75%	90%
QS1Sq, QS2Sq, QS3Sq & QS4Sq	1シーケンス	1-18	18	2	5	9	14	16

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・キャンスタ・ベーシック・ノービス(2020~2021シーズン)

音楽 - タンゴ, 4/4拍子
テンポ - 4拍子27小節/分, 108拍/分
パターン - セット
時間 - 3シーケンスの滑走に必要な時間は47秒.

このダンスは、女性が男性の左に位置するリバース・キリアン・ホールドで滑る。とてもシンプルなダンスで、その目的は3つある。1つめは、プレミナリー・レベルのダンサーにタンゴのリズムを学んでもらうこと。2つめは、8カウントで大きく半円を描く経験をしてもらい、速いスピードでエッジに乗れるという自信を付けてもらうこと。3つめは、経験の浅いダンサーにいろいろしてもらうことである。

スケートとダンスの基本ができていれば、特に難しいところはないはずだ。最初のシャッセ(ステップ3と4)は、両足を横にそろえ、カウント4で行う。必ず、体重をきちんと右足に移すこと。両足で滑ってはならない。もうひとつのシャッセは少し違って、スライド・シャッセというものだ。このシャッセでは、体重を新たなスケーティング・フットへ移すと同時に、フリー・フットを前に滑らせるように氷から浮かせ、その後、次のエッジへの乗り換えがスムーズにできるぎりぎりのタイミングでスケーティング・フットの横まで引き戻す。

この部分で膝を上手に使うと、タンゴをしっかりと表現することができる。ここで、フリー・レッグをできるだけ伸ばし、つま先も上ではなく、下に向ける練習をするのがいいだろう。また、ダイアグラムに示されているとおり、ステップ14のRFOをリンク中央寄りに向けて踏み出すためには、ステップ9から13でエッジにしっかりと乗って滑る必要がある点にも注意されたい。

最後のステップ14は、クロス・ロールとしてもよい。つまり、ステップ13が終わるとき、左足の前に右足をクロスさせて出し、左足のアウトサイドエッジで氷を押してRFOに踏み換える形だ(「クロス・ストローク」の詳しい説明や、「クロスト・ステップ」との違いは、用語の説明を参照のこと)。踏み換える瞬間、両足があまり離れないようにすべきだが、一番大事なのは、トゥ・ブッシュにならないことだ。

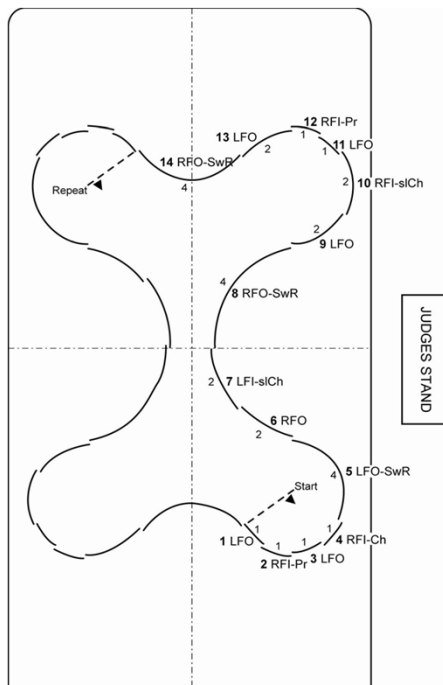
このダンスでは、巧みなフットワーク、タンゴの表現、よい姿勢を維持することが求められる。

考案者	ジェームズ・B・フランシス
初演	1951年, トロント, ユニバーシティ・スケート・クラブ

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・キャナスタ



ホールド	番号	ステップ(男女同一)	音楽の拍数
リバース・キリアン	1	LFO	1
	2	RFI-Pr	1
	3	LFO	1
	4	RFI-Ch	1
	5	LFO - SwR	4
	6	RFO	2
	7	LFI-SlCh	2
	8	RFO-SwR	4
	9	LFO	2
	10	RFI-SlCh	2
	11	LFO	1
	12	RFI-Pr	1
	13	LFO	2
	14	*RFO-SwR	4

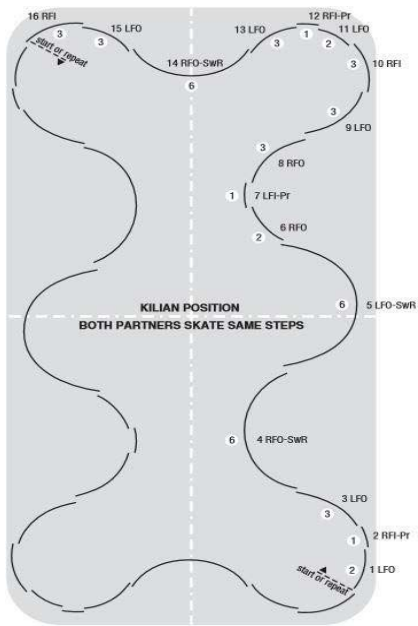
* CR-RFOとしてもよい

3シーケンス /3GOE	シーケンス/セク ション	ステッ プ	ス テッ プ数	10%	25%	50%	75%	90%
TC1Sq, TC2Sq & TC3Sq	1シーケンス	1-14	14	1	4	7	11	13

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ダッチ・ワルツ



ソロダンス・シリーズ競技会では3シーケンス

1パターンの小節数:16

パターン時間の下限:0:20.6

パターン時間の上限:0:21.2

総時間の上限:1:30

このダンスは、リンクの角からスタートし、長辺に沿って滑ったあと短辺を横切り、そこから、リンクの反対側を同じステップで戻ってスタート位置に戻る。つまり、2シーケンスでリンクを1周するダンスである。

ゆったりとしたワルツの音楽に合わせて滑るダンスで、プログレッシブ・シーケンスを中心に、ところどころ、長くロールするエッジがちりばめられている。そのため、初心者でも、難しいステップの心配をせず音楽に集中し、リズムカルな動きを楽しむことができる。

上体を立てたよい姿勢で流れるように、かつ、楽々と滑ることが、このダンスでは求められる。フリー・レッグのスウィングも柔らかい膝の動きも、パートナー2人がユニゾンをもって行えるようにすべきである。

2-1-3というワルツのリズムを表現するため、特に、ラン・シーケンスを構成する各ステップのビート数に注意されたい。

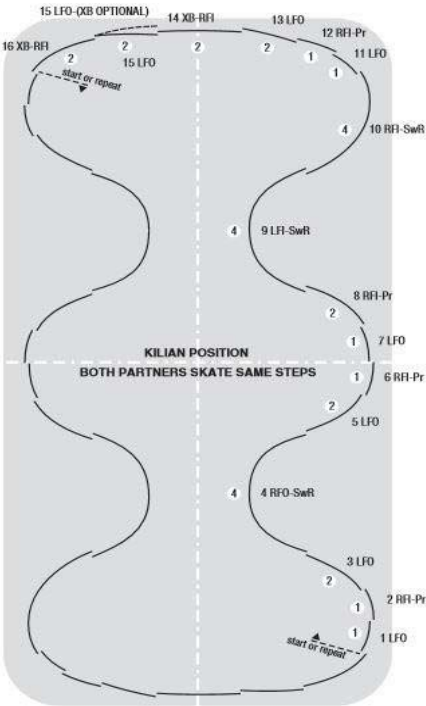
考案者:ジョージ・ミュラー

初演:1948年, コロラド・スプリングス

セクション	ステップ	ステップ数	10%	25%	40%	50%	60%	75%	80%	90%
1セクションのみ	1-16	16	2	4	6	8	10	12	13	14

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**



リズム・ブルース

ソロダンス・シリーズ競技会では3シーケンス

1/パターンの小節数:8

パターン時間の下限:0:21.3

パターン時間の上限:0:22.3

総時間の上限:1:30

ゆったりしたテンポでフォアのためのステップを滑るので、このダンスは、とても簡単に見える。だが、素晴らしいと見ている人に思ってもらうには、正しいタイミングできちんとしたパターンを滑り、表現も十分にすることがある。エッジの深さとロープのカーブにも注意しなければならない。ロープの最後まで正しいエッジを保つことも大事である。ブルースらしく滑るためには、スムーズに流れるような動きをすることはもちろん、膝の動かし方やフリー・レッグの伸ばし方にも注意しなければならない。

ポジションは、終始、キリアンである。最初は、プログレッシブ・シーケンスからアウトサイド・スウィング・ロール(RFO)を行う。ステップ5から10はタイミングがややこしい。ステップ5は2ビートで、ここから、ブルースのチョクトウ前とよく似た「プロムナード」シーケンスに入る。ステップ6と7は1ビートずつである。ステップ8に2ビート乗ったあと、ステップ9と10はフォワード・インサイド・スウィング・ロールだが、いずれも、小節の3拍目からスタートする。このスウィング・ロールはブルースらしさを表現するもので、フリー・レッグをスウィングするタイミングに注意を払わなければならない。ステップ11から13では、力強いストロークのプログレッシブを行い、続くクロス・ビハインド・シャッセをスピードに乗ったまま行えるようにする。こうすれば、パターンをくり返すにあたり、必死で再加速する必要がなくなる。ダンス最後のクロス・ビハインドは、膝を柔らかく動かして丸いエンド・パターンを滑りつつ、正確にキレよく行うこと。なお、ステップ15のXB-LFOは必須ではなく、単なるオープン・ストロークとしてもよい。

セクション	ステップ	ステップ数	10%	25%	40%	50%	60%	75%	80%	90%
1セクションのみ	1-16	16	2	4	6	8	10	12	13	14

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

6. ウェストミンスター・ワルツ

音楽	- ワルツ, 3/4拍子
テンポ	- 3拍子54小節/分, 162拍/分
パターン	- オブショナル
時間	- 2シーケンスの滑走に必要な時間は58秒.

ウェストミンスター・ワルツは、壮麗な身のこなしとエレガントなラインを特徴とするダンスである。柔らかに流れるような膝の動きと力強いエッジで滑る。ウェストミンスター・ワルツらしい壮麗な雰囲気醸すには、上体をまっすぐに保ち、腰で折れないようにすることが必要だ。

ダンスの始まりはキリアン・ホールドだが、ステップ5から6でリバー・キリアン・ホールドに変わる。ステップ1から3はプログレッシブ・シーケンスである。ただし、ステップ3は、2ビート滑ったところでインサイドにエッジを切り替える。こうすることで、体重を中心に向けてすばやく移動し、軽やかにステップ4へ入れるようになる。ステップ5から6はインサイド・オープン・モホークである。このモホークに入るとき、男性は女性の左側にいるが、男女がそれぞれにターンをするので、出るときは、男性が女性の右側に位置することになる。ステップ7は、力強いエッジと優れた身のこなしを示す見せ場である。ステップ8はフェンスに向かって滑り始め、ステップ9はステップ8で描いてきたロープの続きを描く。

ステップ10は男女ともクロス・ロールで入る。その後、女性は男性正面でスリー・ターンを行う。これでいったんクローズド・ホールドとなるが、その直後、オープン・ホールドとなって、クロス・ビハインド・シャッセでカーブを描くステップ11と12を滑る。女性のステップ13はフォワード・インサイドのスウィング・ロッカーで、6ビートをかけてスウィン

グしたあと、次の小節の1拍目でターンを行う。男性のステップ13では、フォワード・アウトサイドのスウィング・カウンターを女性と同じタイミングで行う。ターンの瞬間にはヒップ・トゥ・ヒップ・ポジションとなっていなければならない。ステップ14は、スケート・フットのすぐ横から滑り始めること。

ステップ15では、カウント4でインサイド・スリーをする女性のトレースを、男性が後ろから追うような形になる。ステップ16から20はクローズド・ホールドで滑る。ステップ16は、男女ともクロス・ロールである。続けてステップ17でごく軽いプログレッシブをしたあと、2人とも、ワイド・ステップでステップ18に入る。ステップ20は、男女ともクロス・ロールである。

女性は、ステップ21のカウント3で、男性の左肩に向けてスリー・ターンを行う。続けてカウント4で左のバック・アウトに乗り、右手を男性の右手に向けて伸ばして、リバー・キリアン・ホールドになる。ステップ22で、自分の体の前を女性が横移動するのを男性が助ける形でキリアン・ホールドとなり、ダンスの最初に戻る準備を完了する。ステップ22でフリー・レッグのスウィングは、ホールドの変更をじゃましないよう、RFOに乗っているあいだに行うこと。ステップ22の最後には、RFLへのチェンジ・エッジ(1ビート)があり、ダンスの最初と同じ傾きが得られるようになっている。

考案者 - エリック・バン・デア・ワイデン, エバ・キーツ

初演 - 1938年, ロンドン, ウェストミンスター・アイスリンク

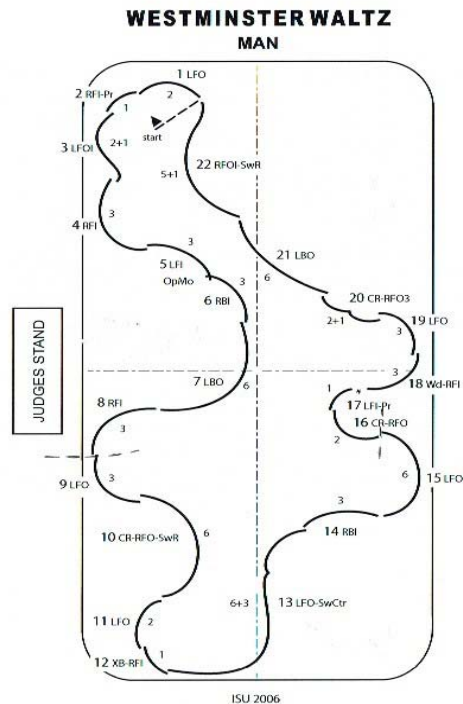
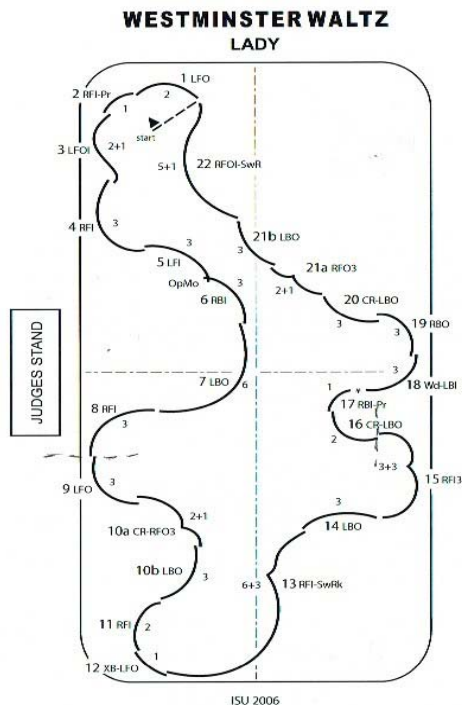
カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

ホールド	番号	男性のステップ	音楽の拍数			女性のステップ
	1	LFO		2		LFO
	2	RFI-Pr		2		RFI-Pr
	3	LFOI		2+1		LFOI
	4	RFI		3		RFI
	5	LFI OpMo		3		LFI OpMo
	6	RBI		3		RBI
	7	LBO		6		LBO
	8	RFI		3		RFI
	9	LFO		3		LFO
	10a	CR-RFO- <u>SwR</u>	6	2+1		CR-RFO3
	10b			3		LBO
	11	LFO		2		RFI
	12	XB-RFI		1		XB-LFO
	13	LFO-SwCtr		6+3		RFI-SwRk
	14	RBI		3		LBO
	15	LFO	6	3+3		RFI3
	16	<u>CR</u> -RFO		2		<u>CR</u> -LBO
	17	LFI-Pr		1		RBI-Pr
	18	<u>Wd</u> -RFI		3		<u>Wd</u> -LBI
	19	LFO		3		RBO
	20	CR-RFO3	2+1		3	CR-LBO
	21a	LBO	6	2+1		RFO3
	21b			3		LBO
	22	RFOI- <u>SwR</u>		<u>5</u> +1		RFOI- <u>SwR</u>

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**



カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会)の概要**

パターン・ダンス:ノービス・インターナショナル・パターン・ダンス

全ノービス・カテゴリー	パターン・ダンスは、リストされた順番で滑ること。また、最初のシーケンスは、ジャッジ席側で行わなければならない。これに違反した場合、レフェリーが演技を止め、正しい位置から再スタートするようカップルに指示する。減点はない。ダンスの第1ステップは、小節の第1拍でなければならない。 パターン・ダンスの音楽は、すべて、カップルが用意しなければならない。ISU公式アイス・ダンス音楽(1番から5番)から選んでもよい。 公式練習では、いずれのパターン・ダンスについても、カップルが選んだ曲を流す(最初のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑り終わったら、2番目のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑る) ウォームアップは3分、6カップルまでとする。最初の30秒は音楽なし、その後の2分30秒はISU公式アイス・ダンス音楽の6番目の曲を流すものとする。						
	パターン・ダンス	シーケンス数	音楽	パターン	コンボ・ネット係数, 0.7	ウォームアップ音楽	
ベーシック・ノービス キー・ポイントなし、コールはレベル1まで	パターン・ダンス1	フォーティーン・ステップ	4シーケンス	4/8拍子あるいは2/4拍子のマーチ、テンポは2拍子56小節/分または4拍子28小節/分 (112拍/分)± 2拍/分	セット・パターン	スケーティング技術	ISU公式アイス・ダンス音楽フォーティーン・ステップの6番目(最後)
	パターン・ダンス2	ウィロー・ワルツ	2シーケンス	ワルツ、3/4拍子、テンポは(ヨーロピアン・ワルツと同じで)3拍子45小節/分 (135拍/分)±3拍/分	セット・パターン	パフォーマンス	ISU公式アイス・ダンス音楽ヨーロピアン・ワルツの6番目(最後)
	パターン・ダンス3	タンゴ・キャナスタ	3シーケンス	4/4拍子のタンゴ、テンポは4拍子27小節/分 (108拍/分) ± 2拍/分	セット・パターン	タイミング	ISU公式アイス・ダンス音楽タンゴの6番目(最後)
インターミディエイト・ノービス キー・ポイントあり、コールはレベル2まで	グループ3 パターン・ダンス1	フォーティーン・ステップ	4シーケンス	4/8拍子あるいは2/4拍子のマーチ、テンポ 2拍子56小節/分 or 4拍子28小節/分 (112拍/分) ± 2拍/分	セット・パターン	スケーティング技術	ISU公式アイス・ダンス音楽フォーティーン・ステップの6番目(最後)
	グループ3 パターン・ダンス2	タンゴ	2シーケンス	4/4拍子のタンゴ、テンポ:4拍子27小節/分 (108拍/分) ± 2拍/分	セット・パターン	パフォーマンス	ISU公式アイス・ダンス音楽タンゴの6番目(最後)
	グループ4 パターン・ダンス1	フォックストロット	4シーケンス	4/4拍子のフォックストロット 4拍子25小節/分 (100拍/分)±2拍/分	オプション・パターン	タイミング	ISU公式アイス・ダンス音楽フォックストロットの6番目(最後)
	グループ4 パターン・ダンス2	ヨーロピアン・ワルツ	2シーケンス	ワルツ、3/4拍子;テンポ 3拍子45小節/分 (135拍/分)±3拍/分	セット・パターン		ISU公式アイス・ダンス音楽ヨーロピアン・ワルツの6番目(最後)
アドバンスト・ノービス キー・ポイントあり、コールはレベル3まで	パターン・ダンス1	スターライト・ワルツ	2シーケンス 4セクション ステップ1~17 & 18~32	ワルツ、3/4拍子;テンポ:3拍子58小節/分 (174拍/分) ± 3拍/分	セット・パターン	スケーティング技術 パフォーマンス 音楽の解釈(インタープリテーション)	ISU公式アイス・ダンス音楽スターライト・ワルツの6番目(最後)
	パターン・ダンス2	クイックステップ	4シーケンス	クイックステップ2/4;テンポ 2拍子56小節/分 (112拍/分)±2拍/分	セット・パターン	タイミング	ISU公式アイス・ダンス音楽クイックステップの6番目(最後)

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会)の概要**

パターン・ダンスおよびパターン・ダンス要素に関するステップ数の割合(2020～2021シーズン)

カテゴリー	ダンス		シーケンス ／セクション あたりの時間 (秒)	所定のシーケンス／セクション数	シーケンス／セクションあたりのステップ数	ステップ数				
						10%	25%	50%	75%	90%
ベーシック・ノービス	フォーティーン・ステップ	112拍／分	10.5～10.9	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	ウィロー・ワルツ	132～138拍／分	22.9～24.0	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
	タンゴ・キャナスタ	108拍／分	15.8～16.5	3シーケンス	14	1	4	7	11	13
インターミディエイト・ノービス	フォックストロット	100拍／分	16.5～17.1	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	ヨーロピアン・ワルツ	135拍／分	23.6～24.4	2シーケンス	18	2	5	9	14	16
	フォーティーン・ステップ	110～114拍／分	10.5～10.9	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	タンゴ	106～110拍／分	28.4～29.4	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
アドバンスト・ノービス	スターライト・ワルツ	174拍／分	34.8～35.6	2シーケンス	32	3	8	16	24	29
	クイックステップ	112拍／分	14.7～15.3	4シーケンス	18	2	5	9	14	16
ジュニア	ティータイム・フォックストロット	108±2拍／分	56.7～58.9	セクション1(1TTF): ステップ1-31 セクション2(2TTF): 女子のステップ32-54, 男子のステップ32-54a	31/35=平均33 23/25=平均24	3 2	8 6	16 12	25 18	30 22
シニア	フィンステップ	104±2拍／分	20.3～21.2	セクション1(1FS): ステップ1-33	33/37=平均35	3	9	17	26	31

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) — 音楽・その他**

質問	回答	備考
<p>シーケンス／セクションのテンポを、レフェリーは、どのようにチェックすればよいのか。</p>	<p>パターン・ダンスのステップが始まった瞬間から、全体の実行に必要な拍数の時間を計測する。</p> <p>ここで計るのは、小節の頭から、最終小節の最終拍が終わるまでであることに注意しなければならない。</p> <p>なにか疑問を感じたら、1つあるいは複数のシーケンスの所要時間を活用し、ビデオ・リプレイで確認すること。パターン・ダンス全体でテンポが一定であったか否かも検討し、必要であれば、不正なテンポの減点を適用する。</p>	<p>中断があった場合にもテンポを間違いなく確認できるように、パターン・ダンスの所要時間ではなく、必要拍数の時間を計らなければならない。</p> <p>音楽を選手が用意する場合、その必要拍数とパターン・ダンスの所要時間は、以下のとおりでなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーティーン・ステップ: 110～114拍, 10.5～10.9秒／シーケンス ・ ウィロー・ワルツ: 132～138拍, 22.9～24.0秒／シーケンス ・ タンゴ・キャナスタ: 106～110拍, 15.8～16.5秒／シーケンス ・ フォックストロット: 98～102拍, 16.5～17.1秒／シーケンス ・ ヨーロッパ・ワルツ: 132～138拍, 23.6～24.4秒／シーケンス ・ タンゴ: 106～110拍, 28.4～29.4秒／シーケンス ・ スターライト・ワルツ: 171～177拍, 34.8～35.6秒／シーケンス ・ クイックステップ: 110～114拍, 14.7～15.3秒／シーケンス

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) — 音楽・その他**

質問	回答	備考
選手が用意した音楽にボーカルが入っていた場合、どうすればいいのか。	ボーカル入りの音楽は、コミュニケーション第2188号で公表された音楽要件に違反しない。	
コミュニケーション第2313号では、選手がみずから用意した音楽でパターン・ダンスを滑る場合、ダンスの第1ステップは小節の第1拍でなければならないと定められている。ワルツの場合、この基準への適否をどう判断すればいいのか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ アメリカン・ワルツとウェストミンスター・ワルツ以外のワルツは、音楽のカウントとスケーティング・カウントが一致する(1-2-3/1-2-3)) ので、3拍からなる小節の第1拍でダンスの第1ステップを踏まなければならない。 ■ アメリカン・ワルツとウェストミンスター・ワルツの場合、音楽のカウントは1-2-3/1-2-3だがスケーティング・カウントは1-2-3/4-5-6である。よって、6拍からなる2小節フレーズの第1拍でダンスの第1ステップを踏まなければならない。 	『ISUアイスダンス音楽リズム小冊子1995』を参照のこと。
国際ノービス競技会で、ISU公式アイス・ダンス音楽の6番目を選んでパターン・ダンスを滑ったカップルがいた。この状況を、ジャッジはどう判断すればいいか。	ジャッジもレフェリーも、音楽要件違反として減点ボタンを押す。コミュニケーション第2313号に記されている音楽要件に違反しているため。	
国際ノービス競技会で、ISU公式アイス・ダンス音楽、1番目から5番目のいずれかを選んでパターン・ダンスを滑ったカップルがいて、10小節目の第1拍でパターン・ダンスの第1ステップを踏んだ。この状況を、ジャッジはどう判断すればいいか。	この範囲のISU公式アイス・ダンス音楽は、カップルがみずから選んだ音楽として使うことができる。	<p>選手が音楽を用意しなければならない場合、それがISU公式音楽であってもそれ以外の音楽であっても、求められるのは、小節の第1拍でパターン・ダンスの第1ステップを踏むことのみである。</p> <p>ただし、音楽のフレージングに合わせた滑走とならず、音楽の解釈(インタープリテーション)に問題が出る恐れがある点には注意が必要である。</p>

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q&A) — 音楽・その他**

質問	回答	備考
パターン・ダンスのパターン・ダンス・シーケンス／セクションが所定の拍で始まったあと、フレーズを外して行われた部分があった場合、どうなるのか。	「パターン・ダンスの開始拍が違う」というコンポーネント・タイミングの調整は適用しないが、採点基準に記された正しいタイミングの割合に応じてコンポーネント・タイミングに反映させる。	このような失敗から一部のシーケンス／セクションが音楽のフレーズを外して行われた場合、必要拍数を維持できなかったステップの割合という面でGOEに反映することも考えられる。
パターン・ダンスの全体あるいは一部でリズムが指定から外れていた。この状況を、ジャッジはどう判断すればいいか。	<p>1. 音楽のリズム: リズムとは「音楽にその性格を与える強拍と弱拍のパターンの規則正しいくり返し」と規程第706条第3項にある。パターン・ダンスの全体あるいは一部で、選んだ音楽の上記定義に基づく「リズム」が、『ISUアイスダンス音楽リズム小冊子1995』にある指定リズムの説明に合致していない場合、それは音楽要件違反であり、ジャッジは音楽減点のボタンを押す。</p> <p>2. ダンスのリズム: パターン・ダンスの全部または一部が指定と異なるリズム・スタイルで行われた場合、リズムの表現が正しくないことになるので、ジャッジは、コンポーネンツの採点基準に従って音楽の解釈を採点する。</p>	<p>例:</p> <p>1. パターン・ダンスのタンゴで、強拍・弱拍のくり返しパターンがタンゴらしくない音楽が選ばれていた場合、ジャッジは音楽減点のボタンを押す。</p> <p>2. パターン・ダンスのフォックストロットで、ブルースのスタイルで滑り、指定リズムと異なっていた場合、ジャッジは、演技に一番よく合うリズムの解釈に応じて音楽の解釈の採点を行う。</p>
パターン・ダンスのシーケンス／セクションに独創的なフリー・レッグの動きを導入したら、どうなるのか。	ダンスの説明、ステップ表、ダイアグラムで求められることに影響がないのであれば、フリー・レッグの動きが独創的でも、ジャッジがGOEに対してなにかすることはしない。	

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **質問と回答(Q & A) — 音楽・その他**

質問	回答	備考
パターン・ダンスのシーケンス／セクションでロング・アクシスを横切った場合、ジャッジは、これをGOEの採点で考慮すべきか、	すべきである。これはパターン・ダンスのシーケンス／セクションに指定されたパターンに対する違反であり、ジャッジは、GOEの特徴の「正しいパターン」に反映させることになる。	このケースについては、リンクの大きさを考慮しなければならない。30メートルと実際のリンク幅との差以内であれば、横切っても違反とはならない。